武蔵 EX-TREND

Ver.24

As温度管理

※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。

FUKUI COMPUTER

目次

1．インデックス ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 1

1－1　インデックスを起動する ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 1

1－2　自社情報の入力 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 2

1－3　インデックスの画面構成 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 3

1－4　新規に工事を作成する ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 4

1－5　工事データを開く/閉じる ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 6

1－6　工事データのバックアップ/リストア ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 8

1－7　各種設定のバックアップ/リストア ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 14

2．測定データの入力 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 18

2－1　アスファルト温度管理の起動 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 18

2－2　分類の追加 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 19

2－3　測定項目の条件確認 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 20

2－4　台数の作成 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 22

3－5　測定項目の入力 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 24

3．成果の確認・編集 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 27

4．成果の印刷 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 29

5．インデックスへの成果登録 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 30

6．工事データの保存 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 32

6－1　工事データの保存 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 32

6－2　アスファルト温度管理の終了 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 32

参考．入力専用ライセンス ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 入力専用－1

1－1　入力専用ライセンスの使用方法 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 入力専用－1

1－2　入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する ＿＿＿＿＿＿＿＿ 入力専用－3

1－3　入力専用ライセンスの終了 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 入力専用－4

温　度　管　理　表

工事名　サンプル工事

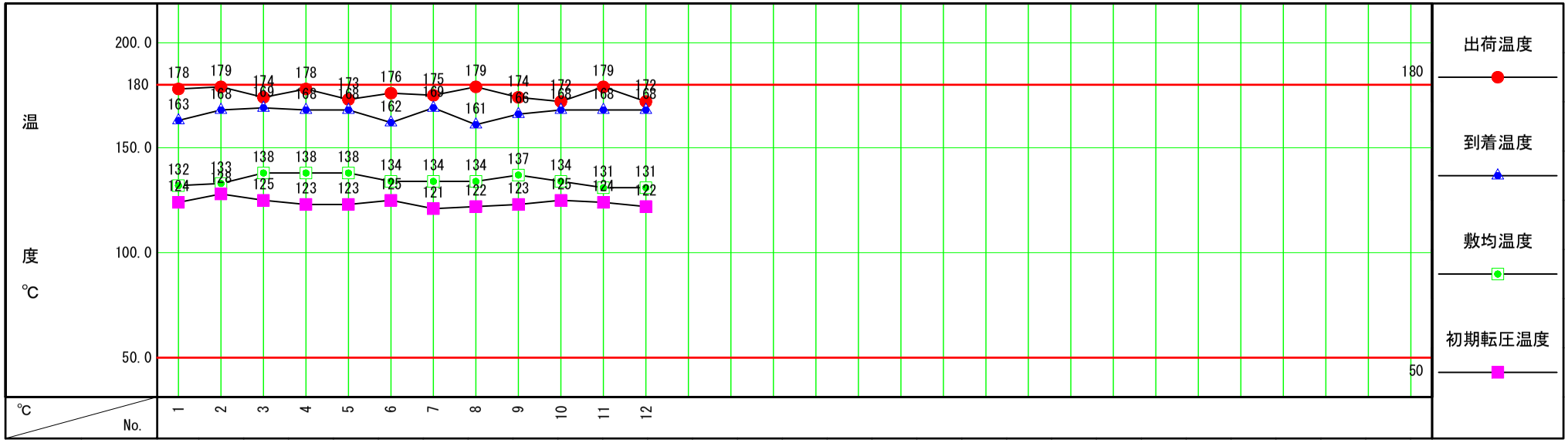
工　種　舗装工 細密粒度アスコン

受注者

測定者　現場一郎

No.	台 数	測定年月日	出荷温度	到着温度	敷均温度	初期転圧温度	備 考
1	1台目	1/6/3	178	163	132	124	
2	2台目	1/6/3	179	168	133	128	
3	3台目	1/6/3	174	169	138	125	
4	4台目	1/6/3	178	168	138	123	
5	5台目	1/6/3	173	168	138	123	
6	6台目	1/6/3	176	162	134	125	
7	7台目	1/6/3	175	169	134	121	
8	8台目	1/6/3	179	161	134	122	
9	9台目	1/6/3	174	166	137	123	
10	10台目	1/6/3	172	168	134	125	
11	11台目	1/6/3	179	168	131	124	
12	12台目	1/6/3	172	168	131	122	

No.	台 数	測定年月日	出荷温度	到着温度	敷均温度	初期転圧温度	備 考



1 インデックス

EX-TREND武蔵のデータは［EX-TREND武蔵 インデックス］で工事ごとに管理します。
ここでは、インデックスの起動、自社情報の入力、工事データの新規作成、バックアップの方法などを説明します。

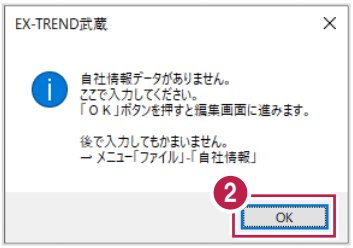
1-1 インデックスを起動する

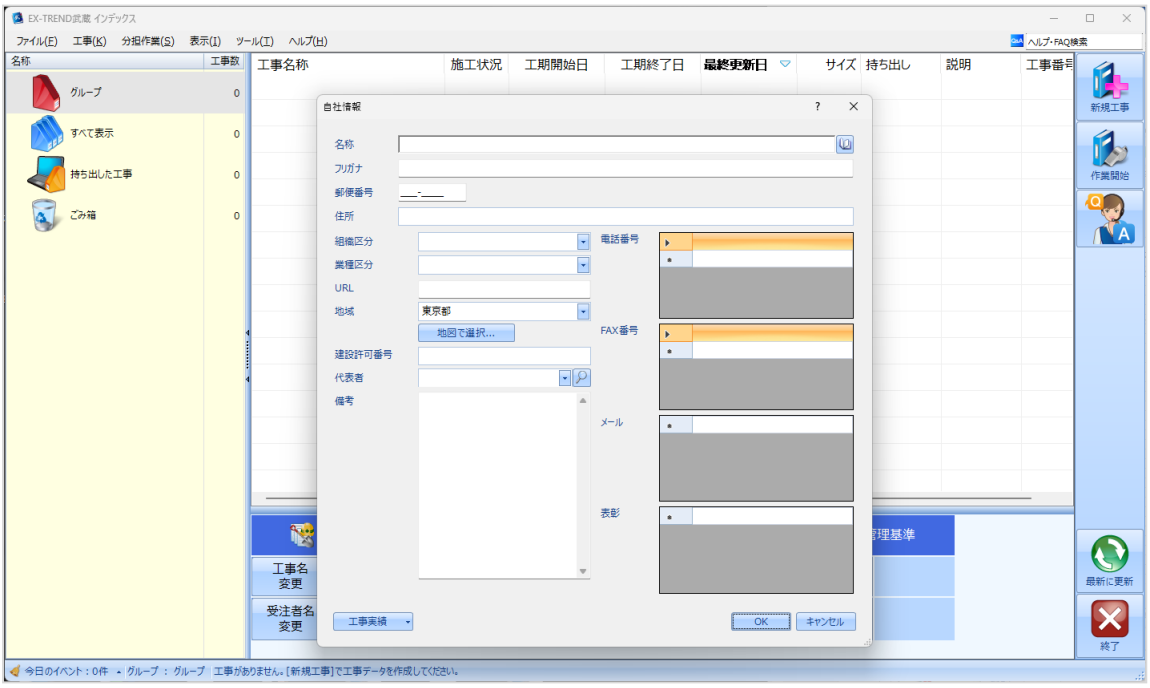
［EX-TREND武蔵 インデックス］を起動します。

❶［EX-TREND 武蔵 インデックス］をダブルクリックします。

❷ 確認メッセージが表示された場合は、［OK］をクリックします。

EX-TREND 武蔵 インデックスが起動します。





1-2 自社情報の入力

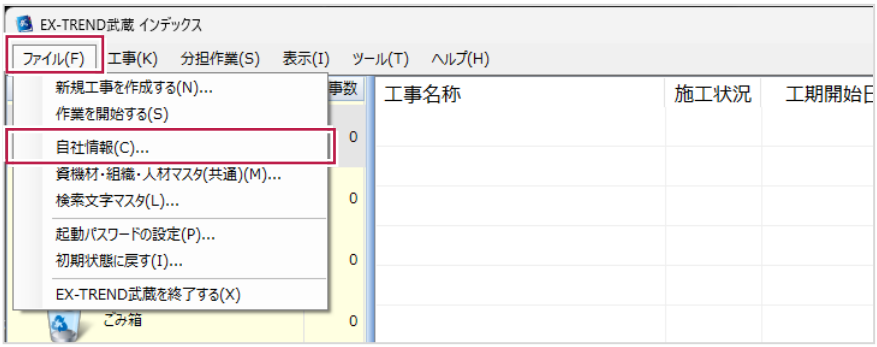
インデックス起動時に表示される自社情報を入力します。

❶ 名称（会社名）や住所、電話番号、地域などを入力します。

❷ ［OK］をクリックします。

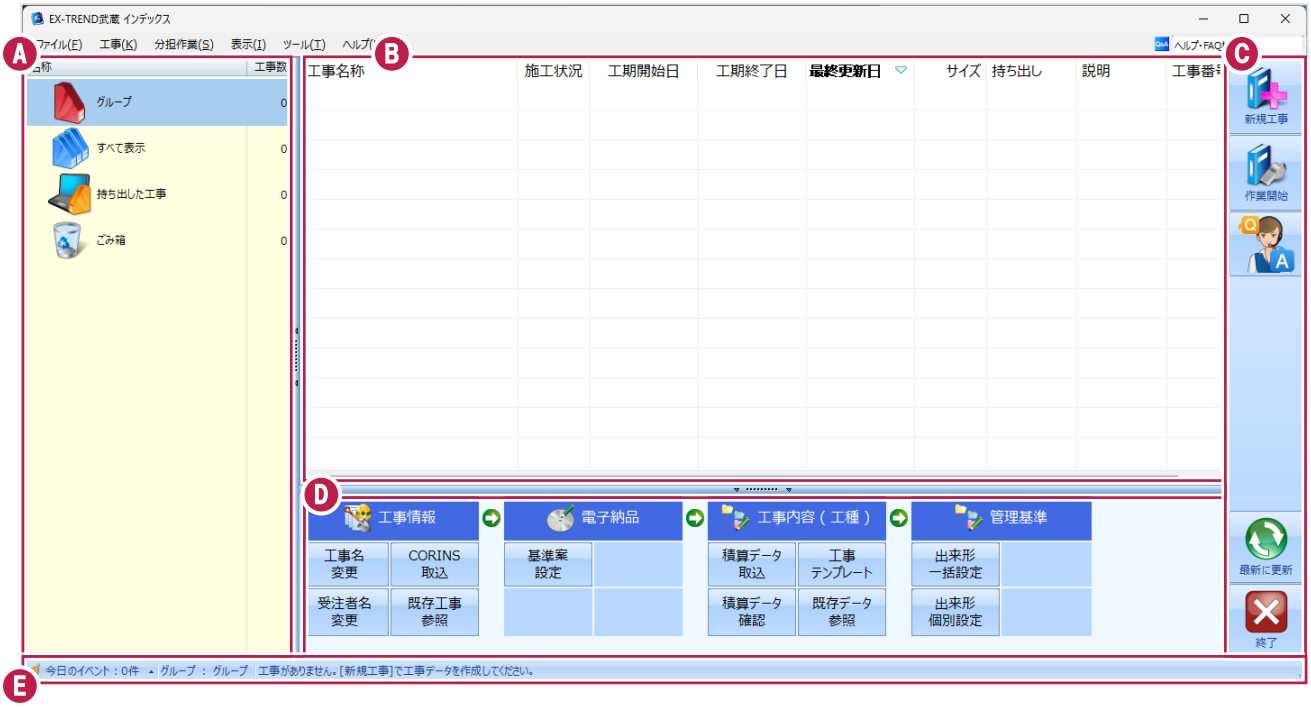
・自社情報に入力した内容は、各プログラムの共通の情報として連動します。
　例えば、［地域］は電子納品の要領・基準案などに初期設定として反映されます。

・自社情報はメニューバーの［ファイル］－［自社情報］で編集できます。



1-3 インデックスの画面構成

インデックスの画面周りを説明します。



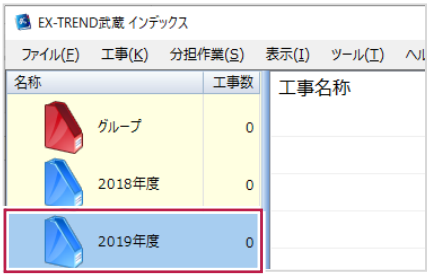
A グループ一覧	工事をグループごとに管理できます。 グループを選択すると、所属する工事が B（工事一覧）に表示されます。 右クリックして表示されるポップアップメニューでグループを追加・編集・削除できます。 グループは 5 階層まで作成可能です。
B 工事一覧	A（グループ一覧）で選択中のグループの工事が一覧表示されます。 ［表示］－［工事の表示方法］で、表示方法の切り替えが可能です。
C アイコンバー	［新規工事］：新しい工事を作成します。 ［作業開始］：選択した工事の作業を開始します。 ［QA］：よくある質問への回答を閲覧できます。 ［最新に更新］：一覧を最新に更新します。 ［終了］：アプリケーションを終了します。
D 工事編集パネル	［工事情報］［電子納品］［工事内容（工種）］［管理基準］を編集するコマンドを実行できます。
E ステータスバー	スケジュールに入力したイベントや工事データの保存先などが表示されます。

1-4 新規に工事を作成する

新しい工事を作成します。

❶［新規工事］をクリックします。

グループごとに工事を管理する場合は、
所属するグループを選択して
［新規工事］をクリックしてください。
※工事作成後にグループを移動することもできます。



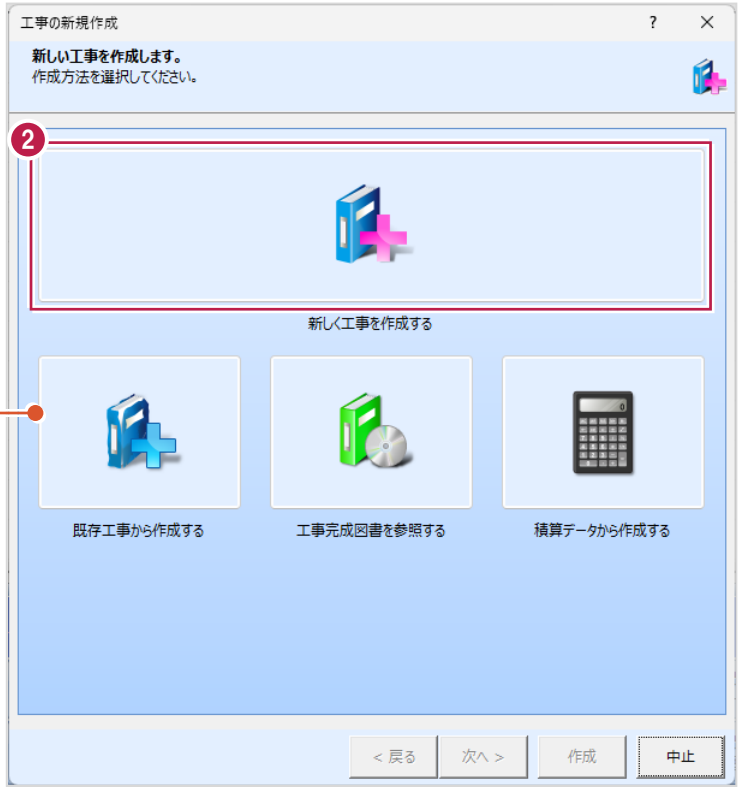
❷［新しく工事を作成する］をクリックします。

その他の作成方法は以下の通りです。

［既存工事から作成する］
既存の工事データを再利用して工事を作成する場合に選択します。

［工事完成図書を参照する］
発注者からのデータや以前の納品データを参照して工事を作成する場合に選択します。

［積算データから作成する］
積算ソフトのデータを元に工事を作成する場合に選択します。
※工事作成後に積算データを読み込むこともできます。



❸ ［工事名称］を入力します。

ここでは、「サンプル工事」と入力します。

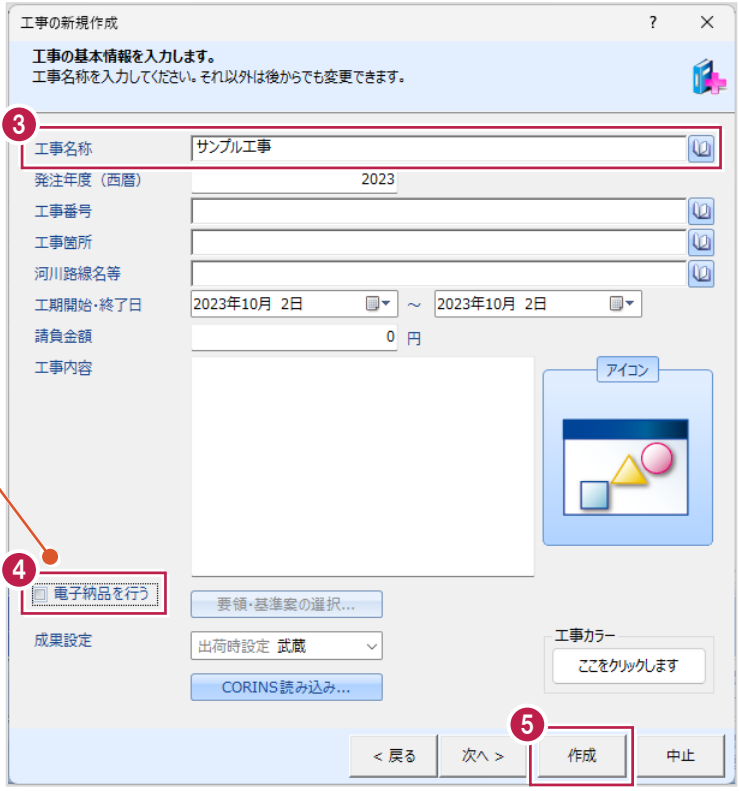
必要に応じて、他の項目も入力してください。

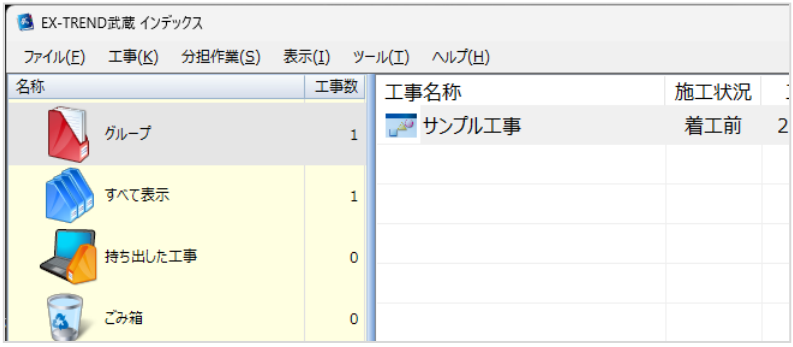
❹ ［電子納品を行う］をオフにします。

電子納品を行う場合は、［電子納品を行う］をオンにし、［要領・基準案の選択］をクリックして設定してください。

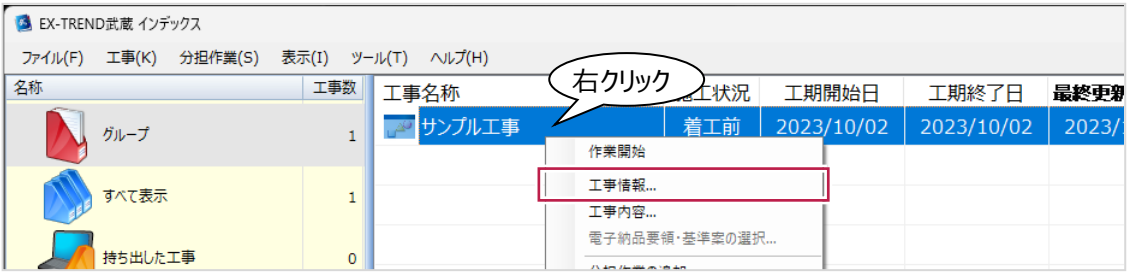
❺ ［作成］をクリックします。

工事が作成されます。





工事名称などの情報を変更する場合は、工事データで右クリックして［工事情報］をクリックしてください。



1-5 工事データを開く/閉じる

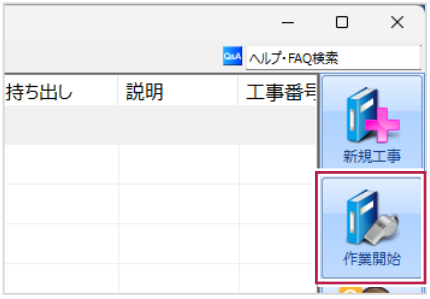
工事データを開く/閉じる操作を説明します。

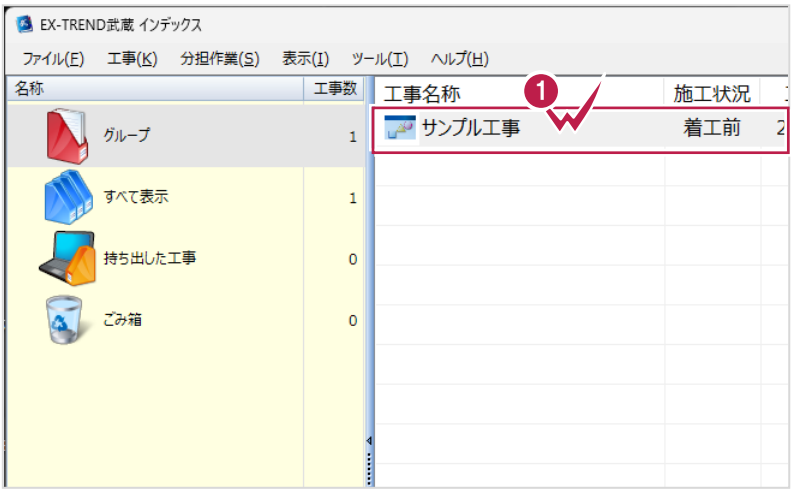
■工事データを開く

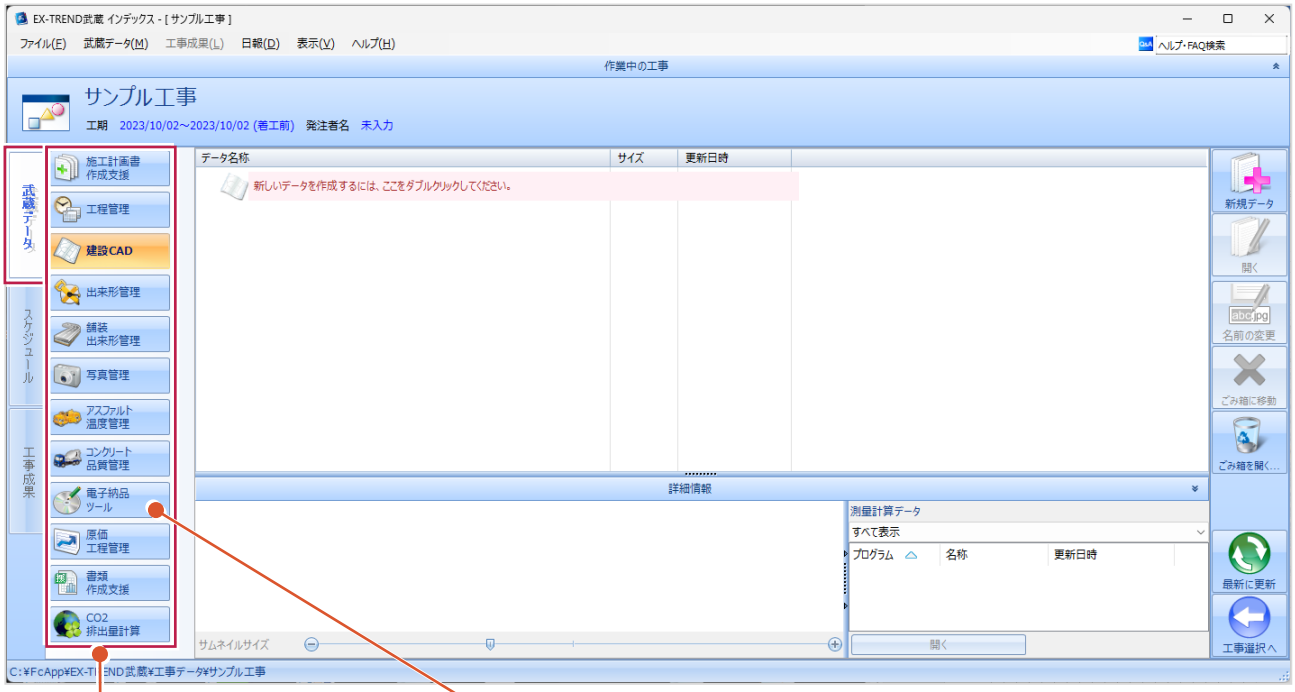
工事データを開き、武蔵データ画面を表示します。

❶ 工事データをダブルクリックします。
武蔵データ画面が表示されます。

工事データを選択し、［作業開始］をクリックして開くこともできます。



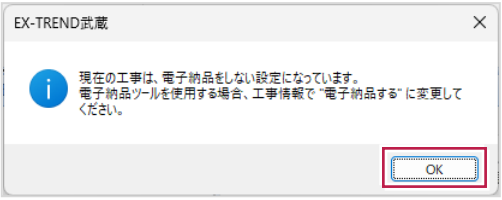




画面左側に武蔵データのアプリケーション一覧が表示されます。

購入していないアプリケーションには進入禁止マーク が表示されます。

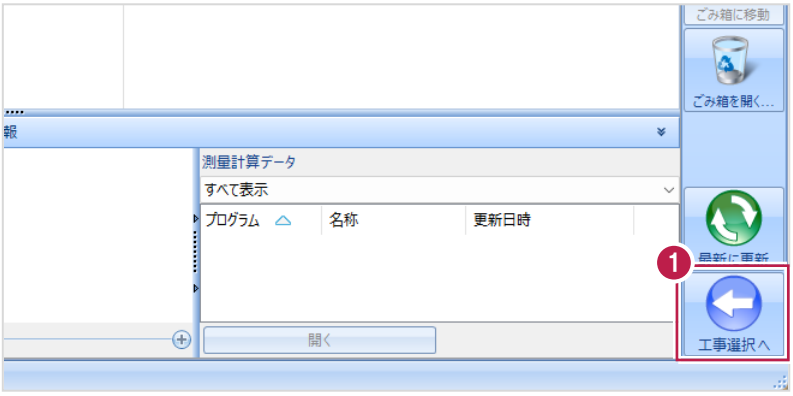
電子納品を行わない設定にした場合、
［電子納品ツール］をクリックすると確認メッセージが表示されます。
［OK］をクリックしてメッセージを閉じてください。

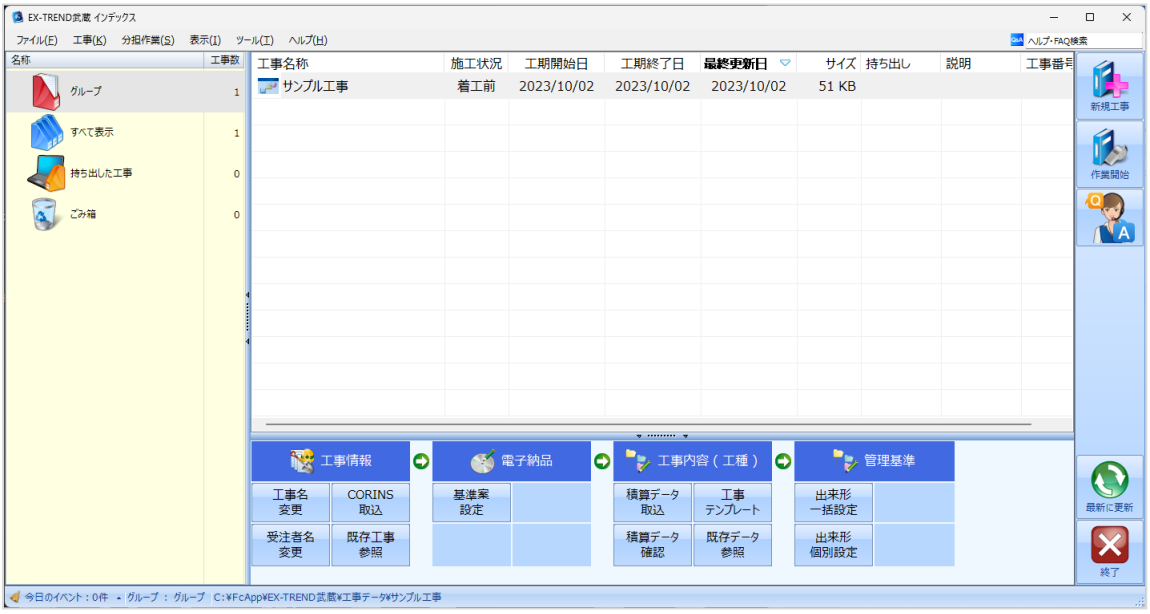


■ 工事データを閉じる

工事データを閉じて、工事選択画面に戻ります。

❶ 画面右下の［工事選択へ］をクリックします。
工事選択画面に戻ります。





1-6 工事データのバックアップ/リストア

コンピューターも他の電化製品と同じように故障する場合があります。
また、些細なミスでデータを削除してしまうことも考えられます。
バックアップとは、工事データや設定ファイルを別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に保存することです。
使用中のコンピューターのHDDなどにバックアップすることは、本来の意味のバックアップとは言えません。
※CDやDVDには直接バックアップできません。HDDの別の領域にバックアップ後、ライティングソフトなどでコピーしてください。

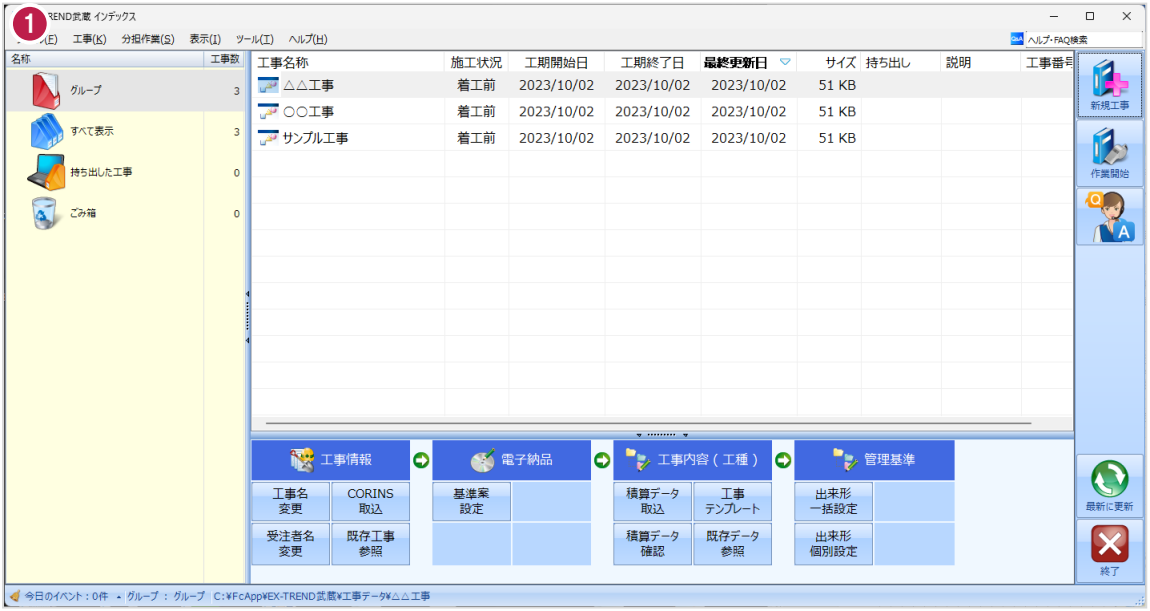
お客様が作成したデータは、お客様にとって大切な財産です。
万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様ご自身の管理・責任において、データは必ず2ヶ所以上の別のメディア（HDD、CD、DVDなど）に定期的にバックアップとして保存してください。
※いかなる事由においても、データの破損などによるお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

ここでは、インデックスで管理している複数の工事データを一括バックアップする操作と、バックアップしたデータをリストア（復元）する操作を説明します。

■ 工事データをバックアップする

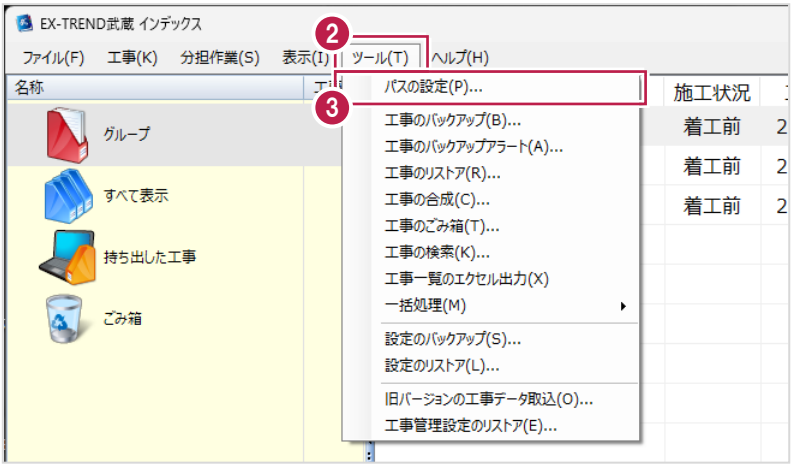
バックアップデータの保存先を確認して、工事データを一括バックアップします。

❶ EX-TREND 武蔵の関連プログラムを全て
終了し、インデックスを起動します。



❷ メニューバーの［ツール］をクリックします。

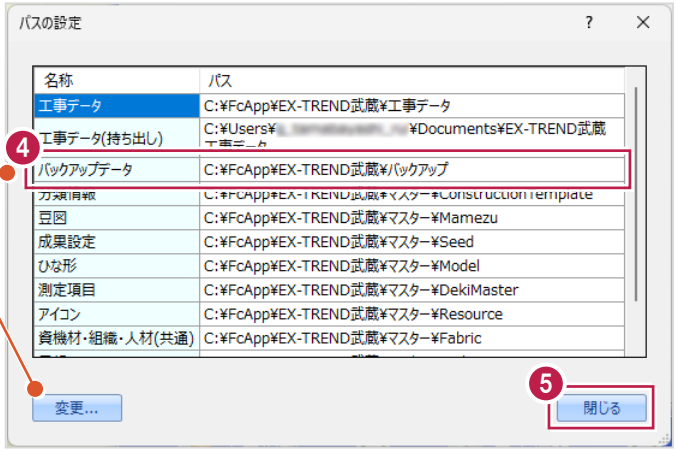
❸［パスの設定］をクリックします。



❹ バックアップデータの保存先を確認します。

保存先を変更する場合は、
［バックアップデータ］を選択し
［変更］をクリックして
フォルダーを指定してください。

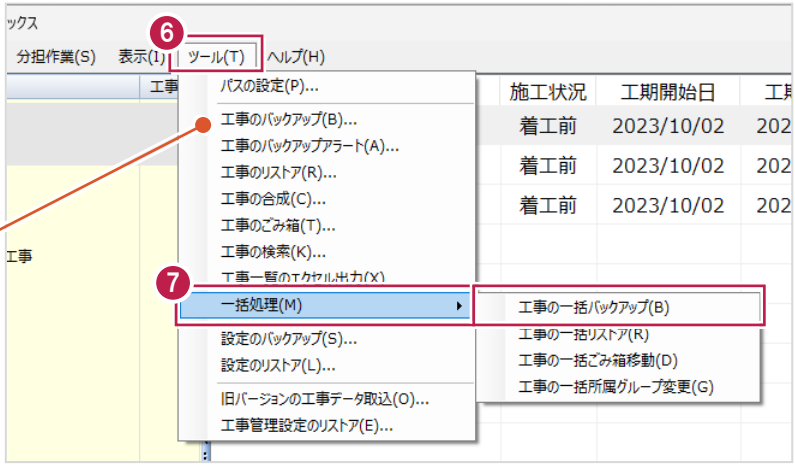
❺［閉じる］をクリックします。



❻ メニューバーの［ツール］をクリックします。

❼［一括処理］－［工事の一括バックアップ］をクリックします。

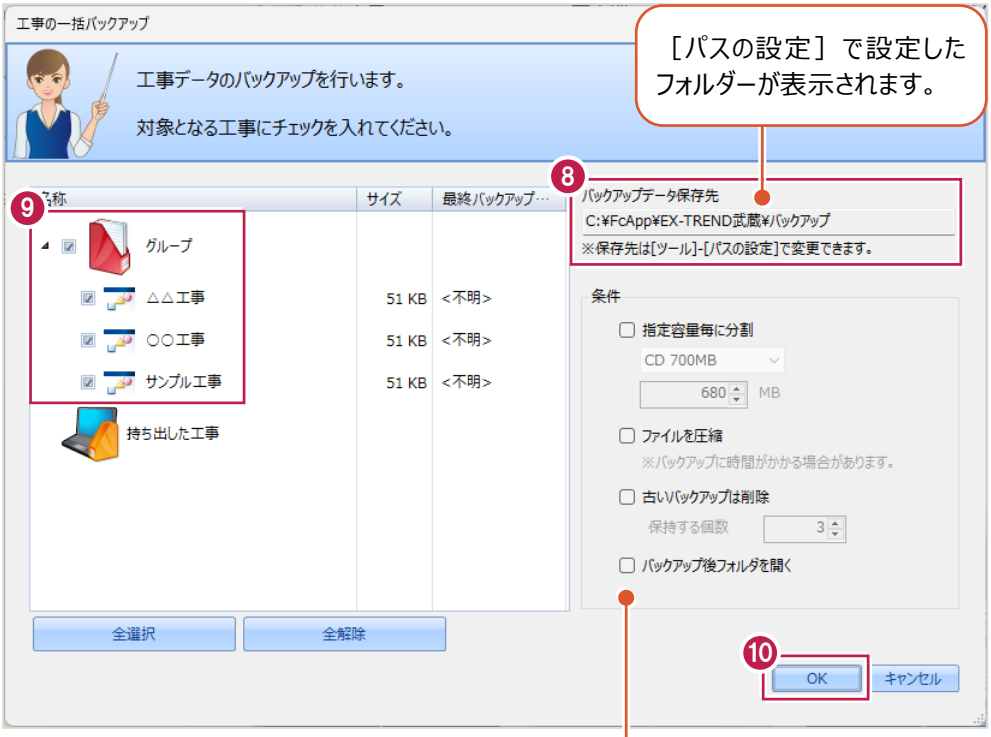
個別にバックアップする場合は、
工事一覧で工事を選択し、
［ツール］－［工事のバックアップ］を
行ってください。



❽［バックアップデータ保存先］を確認します。

❾ バックアップする工事をオンにします。

❿［OK］をクリックします。



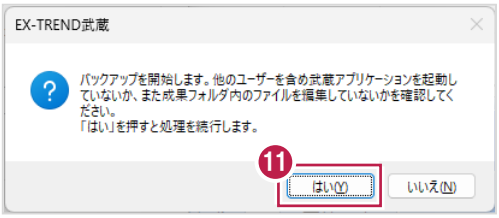
［指定容量毎に分割］
CDなどのメディアの容量に合わせて、分割保存する場合に使用します。

［ファイルを圧縮］
圧縮してバックアップサイズ（容量）を小さくする場合に使用します。
※写真データが多い場合は圧縮してもデータのサイズはあまり変わりません。

［古いバックアップは削除］
同一フォルダーへ保管しておくバックアップ数を指定します。

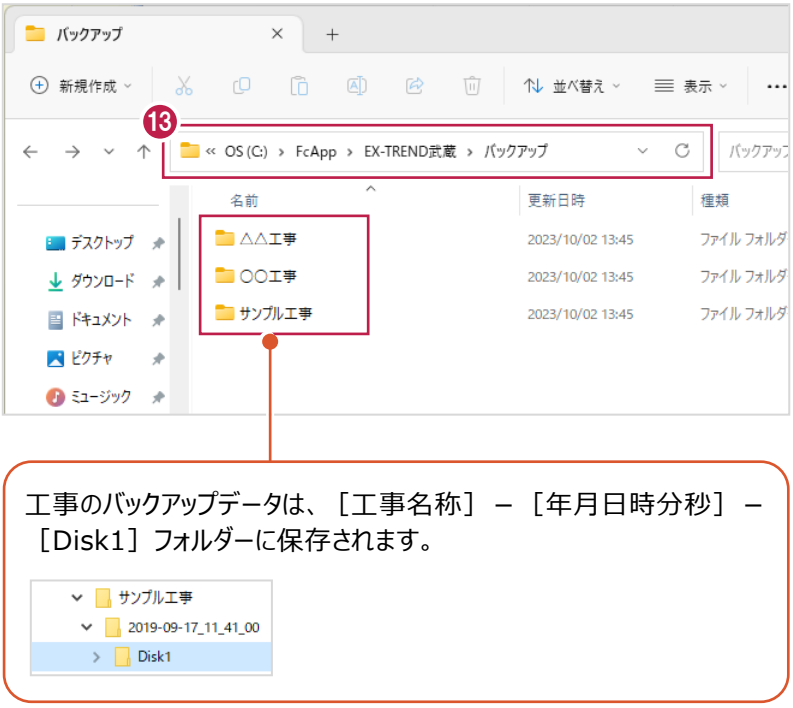
［バックアップ後フォルダを開く］
バックアップ完了後に保存先のフォルダーを開く場合はオンにします。

⓫［はい］をクリックします。



⓬［OK］をクリックします。

⑬ バックアップデータ保存先に、工事データが保存されます。



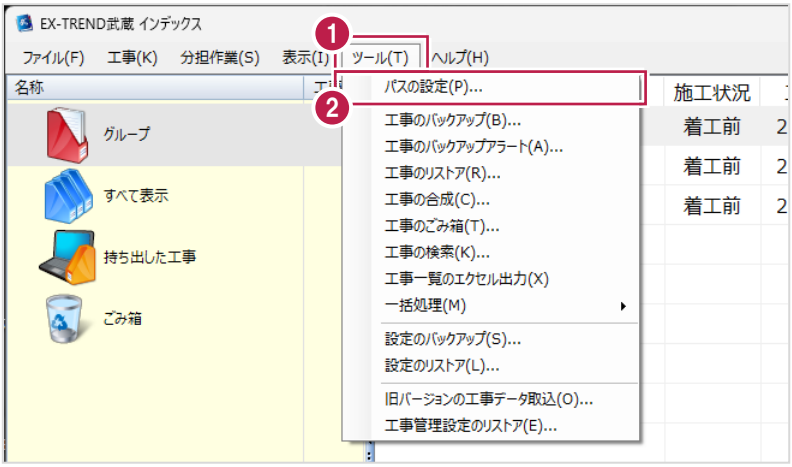
工事のバックアップデータは、［工事名称］－［年月日時分秒］－［Disk1］フォルダーに保存されます。

■ 工事データをリストア（復元）する

リストアするバックアップデータの保存先を確認して、工事データを一括リストアします。

❶ メニューバーの［ツール］をクリックします。

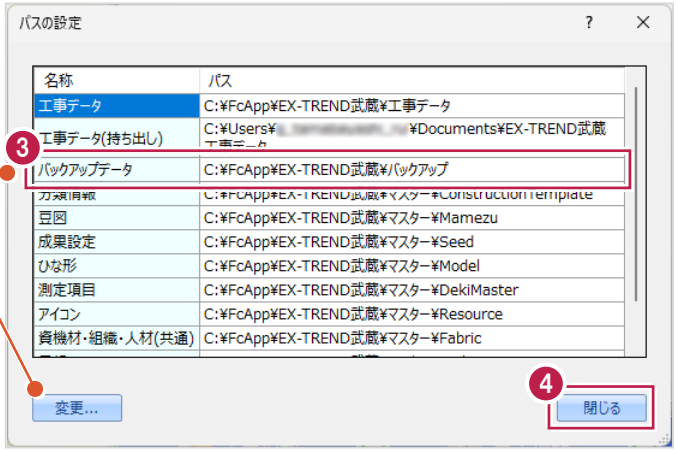
❷［パスの設定］をクリックします。



❸［バックアップデータ］のパスを確認します。

バックアップデータが外付けHDDなどに保存されている場合は、［バックアップデータ］を選択し［変更］をクリックしてリストア対象のフォルダーを選択してください。

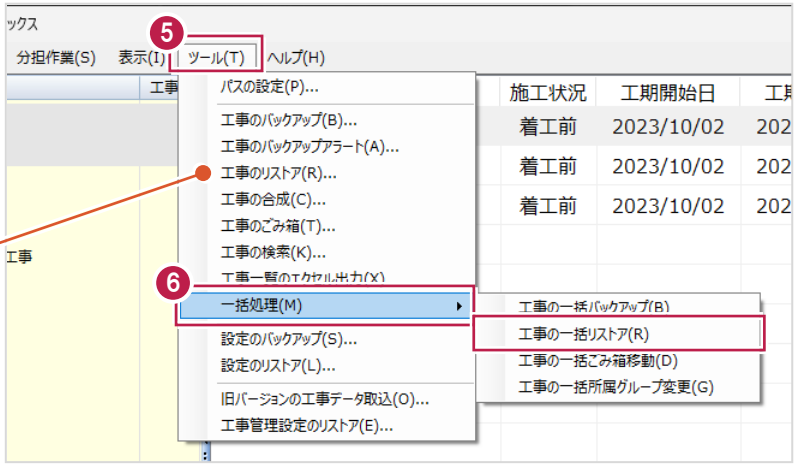
❹［閉じる］をクリックします。



❺ メニューバーの［ツール］をクリックします。

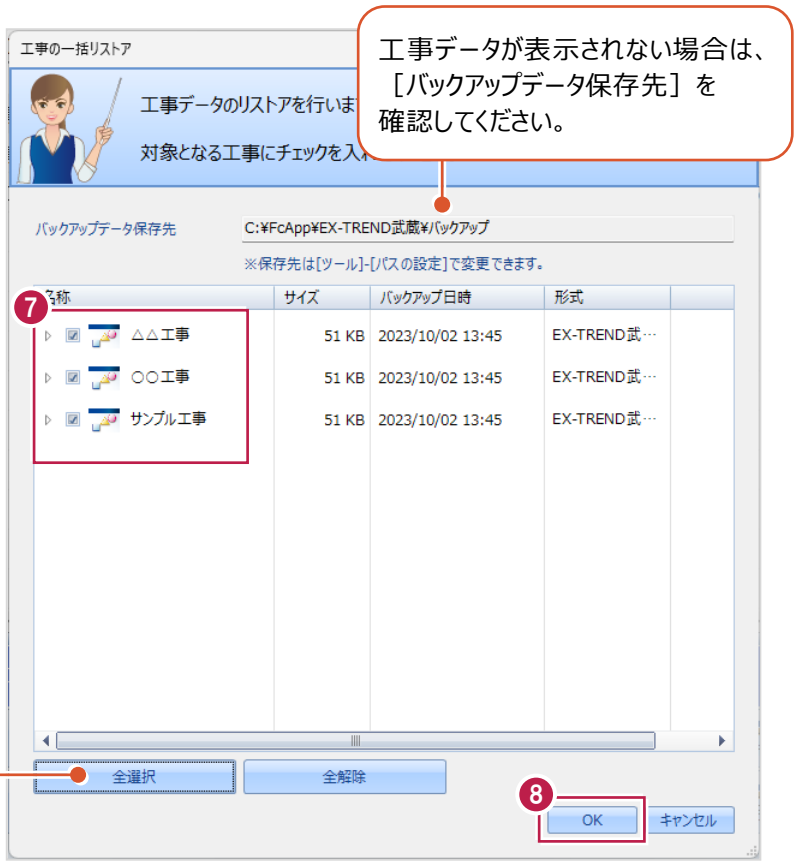
❻［一括処理］－［工事の一括リストア］をクリックします。

個別にリストアする場合は、［ツール］－［工事のリストア］で対象データの「Disk1」フォルダーを指定してください。



❼ 取り込む工事データをオンにします。

❽［OK］をクリックします。



❾［はい］をクリックします。

❿［OK］をクリックします。

工事データが復元されます。

1-7 各種設定のバックアップ/リストア

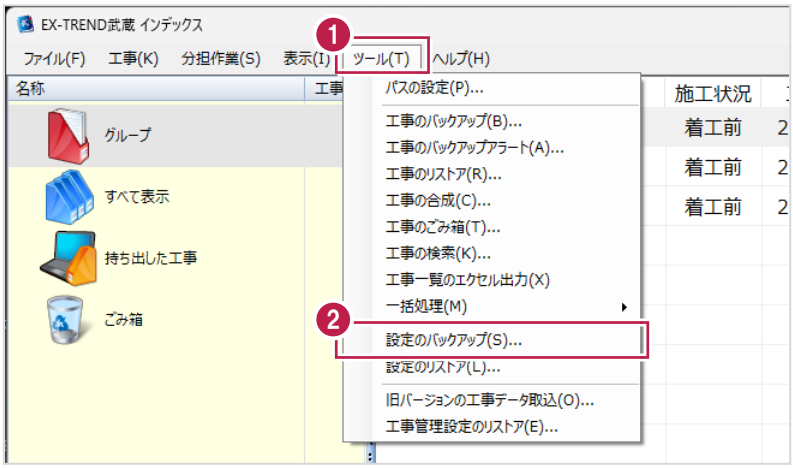
EX-TREND武蔵関連プログラムで使用する共通設定や辞書などをバックアップする操作と、バックアップしたデータをリストア（復元）する操作を説明します。

■設定データをバックアップする

設定データをバックアップします。

❶ メニューバーの［ツール］をクリックします。

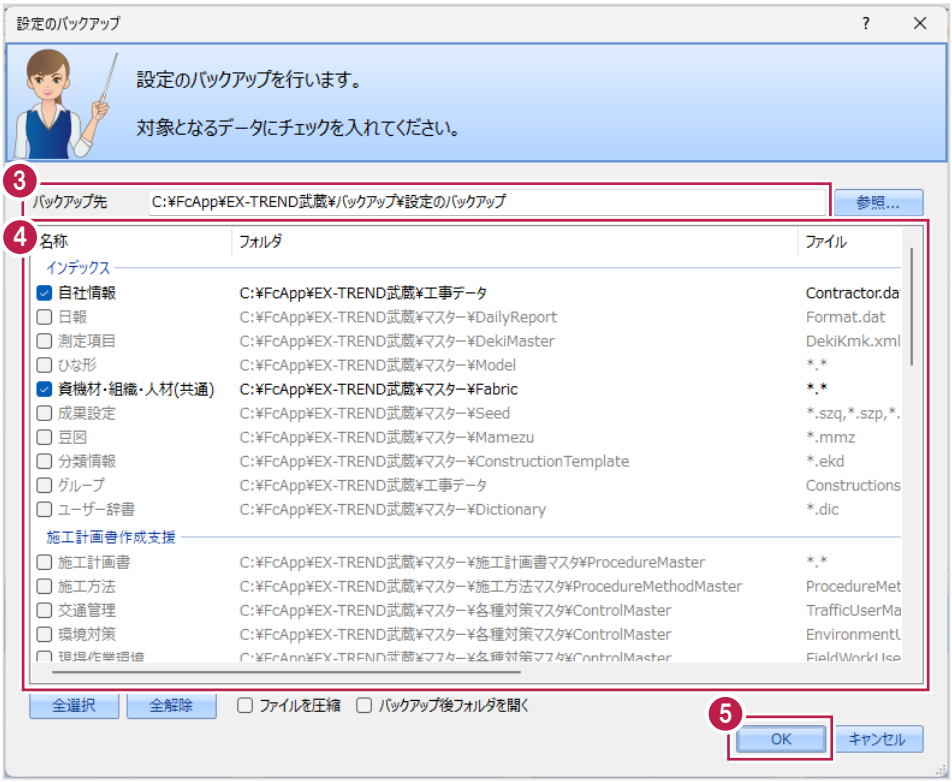
❷［設定のバックアップ］をクリックします。



❸ バックアップ先を確認します。

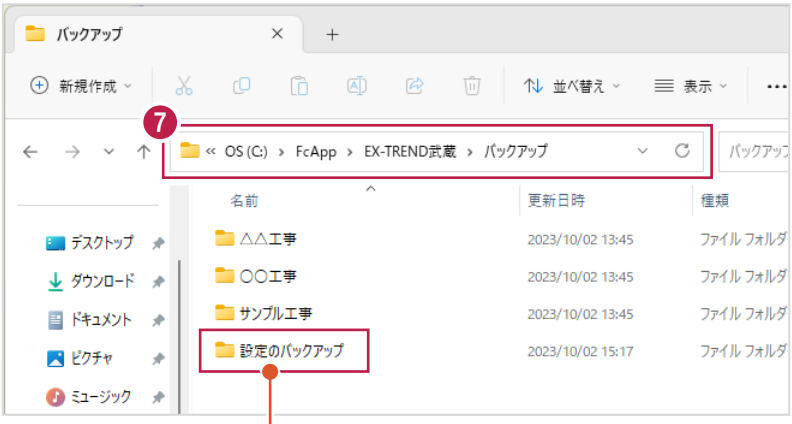
❹ バックアップする設定をオンにします。

❺［OK］をクリックします。



❻［OK］をクリックします。

❼ バックアップ先に設定データが保存されます。



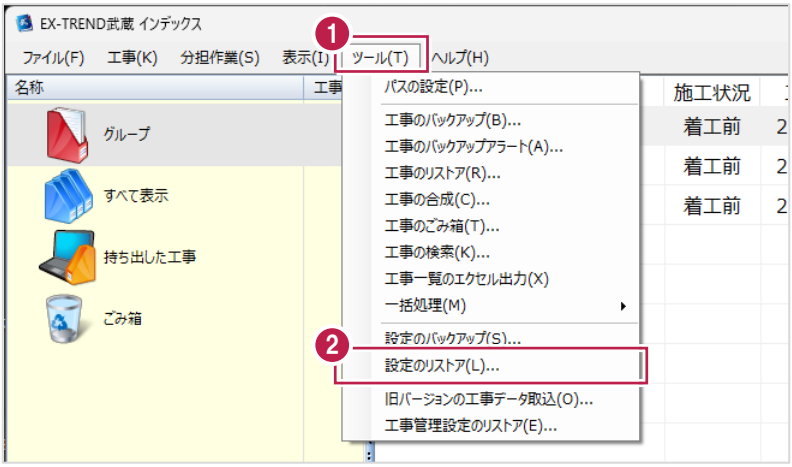
設定のバックアップデータは、［設定のバックアップ］－［年月日時分秒］フォルダーに保存されます。

■設定データをリストア（復元）する

設定データをリストアします。

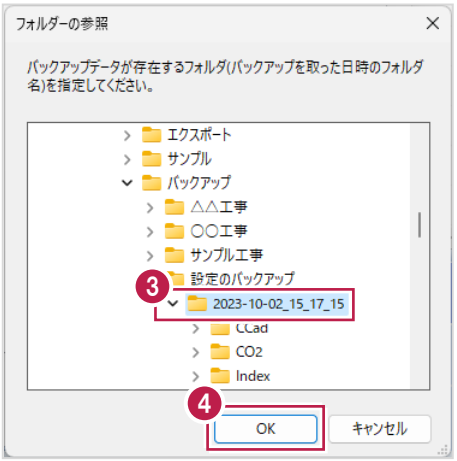
❶ メニューバーの［ツール］をクリックします。

❷［設定のリストア］をクリックします。



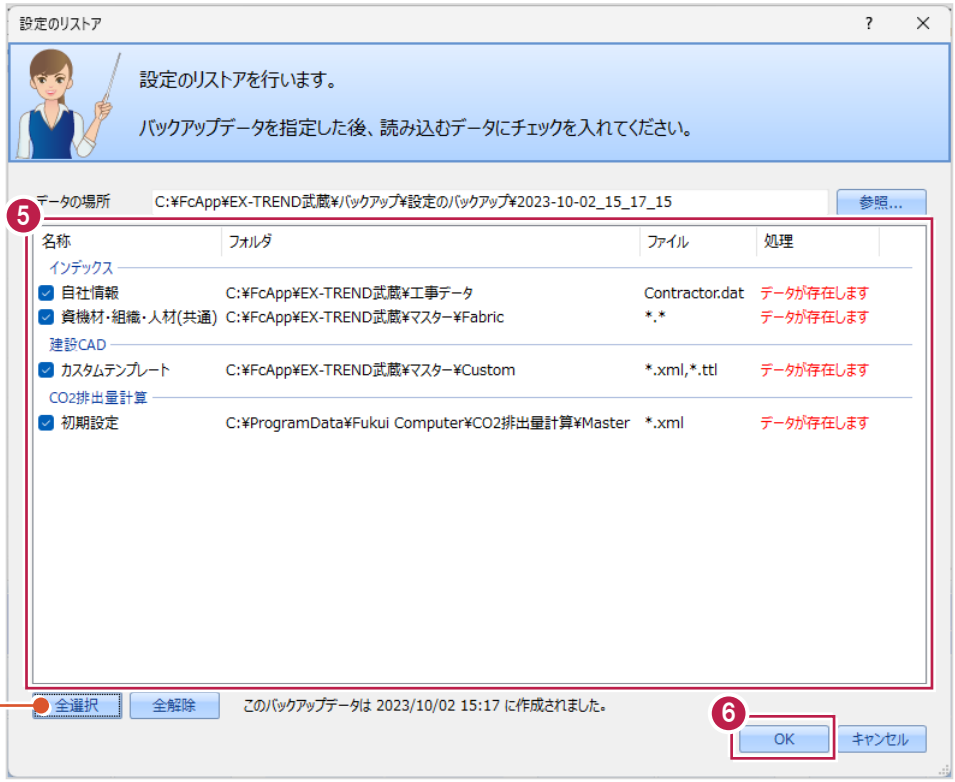
❸ バックアップした設定データが存在する
フォルダーを選択します。

❹［OK］をクリックします。



❺ 取り込む設定データをオンにします。

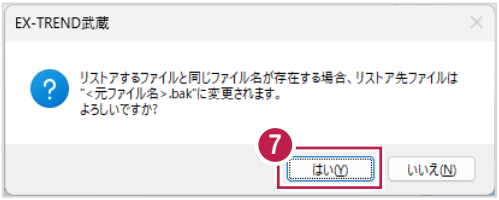
❻［OK］をクリックします。



全てオンにする場合は、［全選択］をクリックしてください。

❼ 確認メッセージが表示された場合は、［はい］をクリックします。

※リストア先に同名のファイルが存在する場合に表示されます。



❽［OK］をクリックします。

2 測定データの入力

［アスファルト温度管理］を起動して、測定データを入力する操作を説明します。

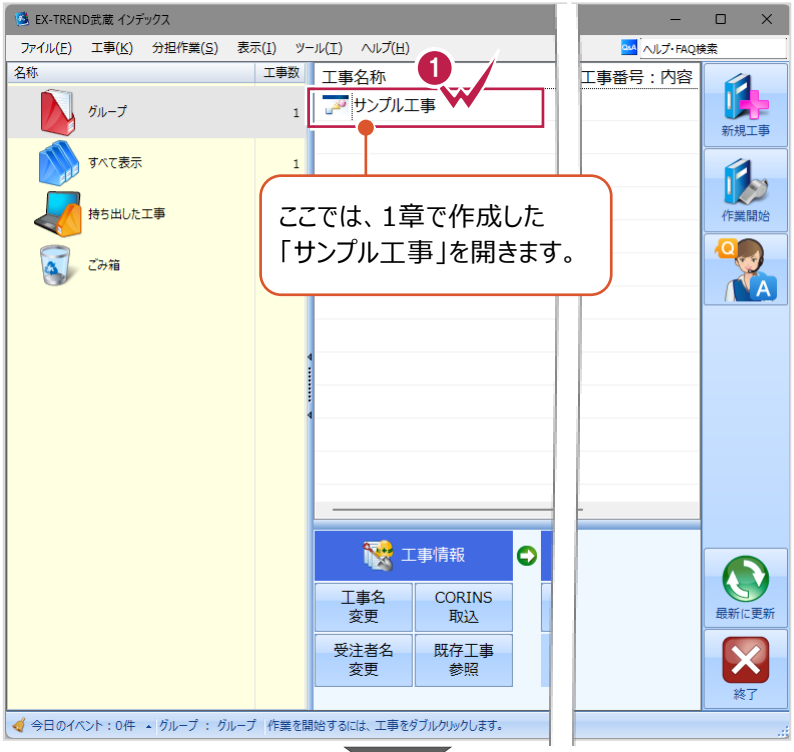
2-1 アスファルト温度管理の起動

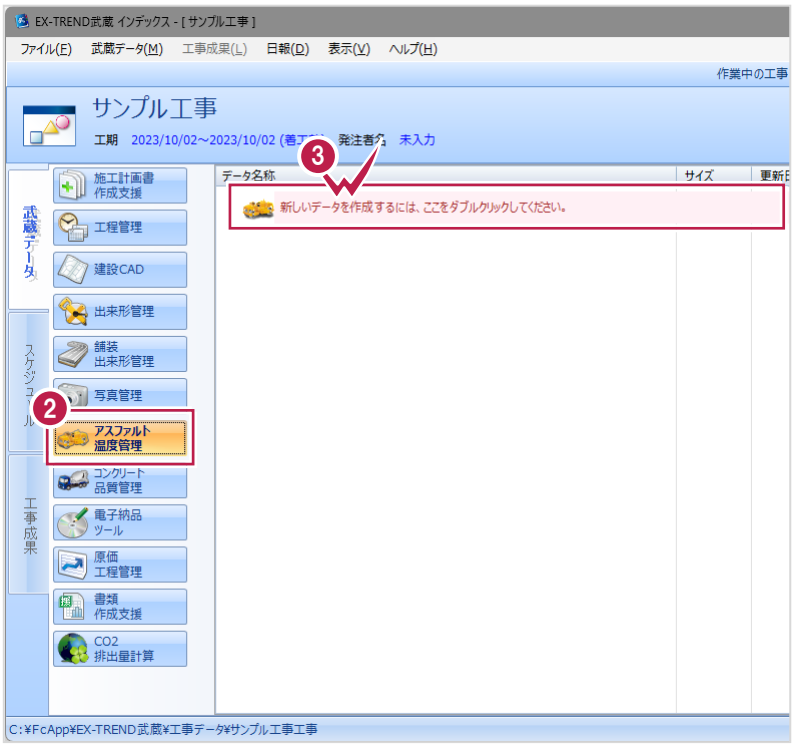
工事データを開き、アスファルト温度管理を起動します。

❶ 作業を行う工事データをダブルクリックします。

❷ 画面左側で［アスファルト温度管理］をクリックします。

❸ データ一覧の「新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。

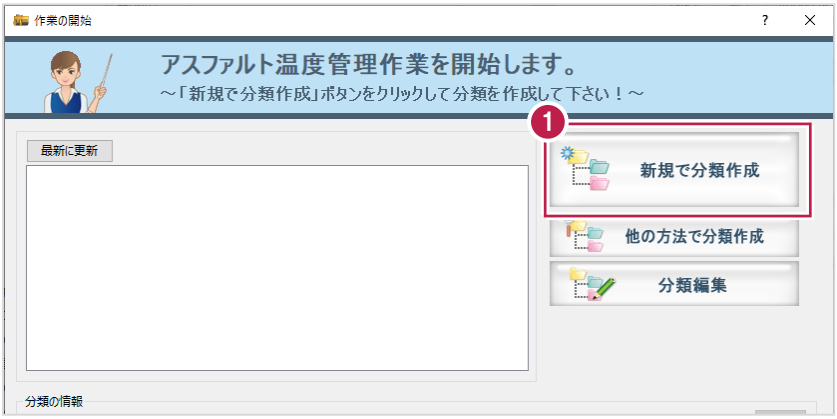




2-2 分類の追加

ここでは、工種名を「舗装工」として分類追加する手順を例に説明します。

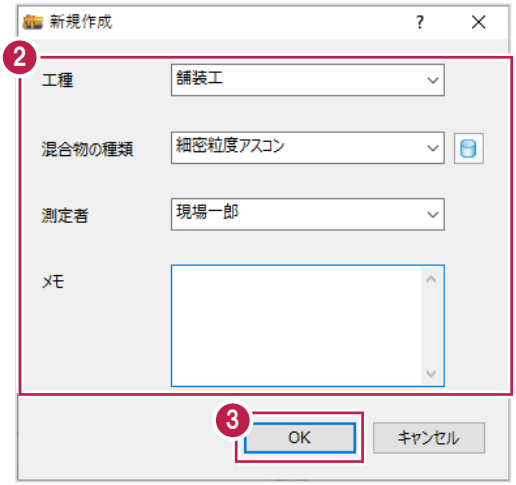
❶ ［新規で分類作成］をクリックします。



❷［工種］［混合物の種類］［測定者］などを入力します。

ここでは、以下のように入力します。
［工種］：舗装工
［混合物の種類］：細密粒度アスコン
［測定者］：現場一郎

❸［OK］をクリックします。

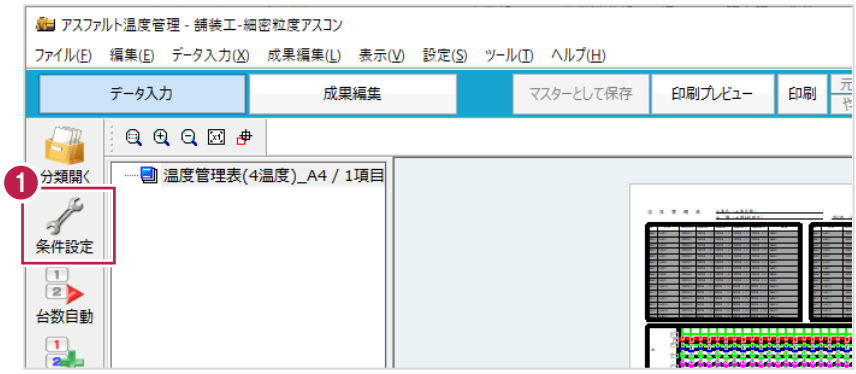


❹ ［作業開始］をクリックします。

2-3 測定項目の条件確認

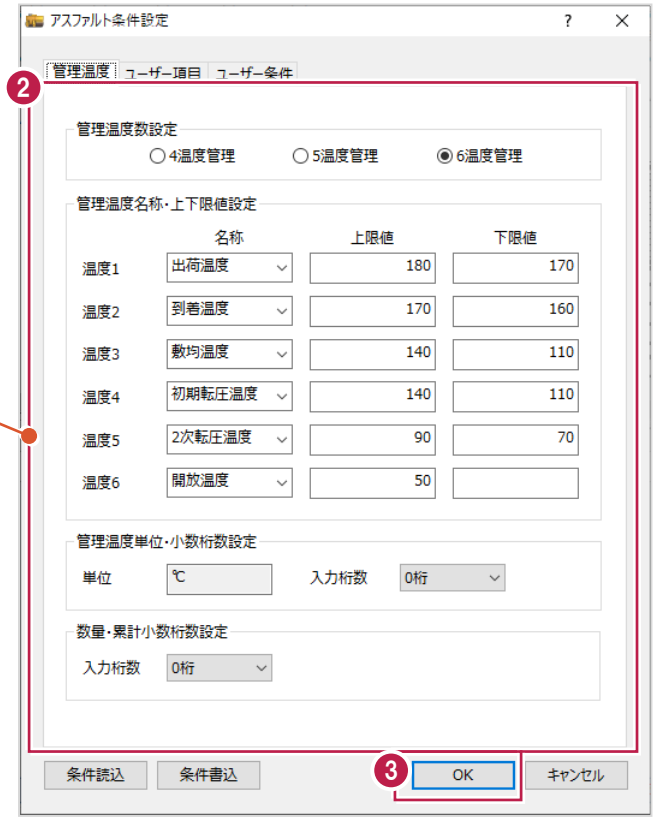
ここでは、各温度の名称や上限・下限値、入力温度の桁数を確認します。

❶ ［条件設定］をクリックします。



❷ 管理温度の名称、上・下限値などの各設定を行います。

❸ 設定・確認後、［OK］をクリックします。



［名称］［上限値］［下限値］は手入力が可能です。

各設定項目について

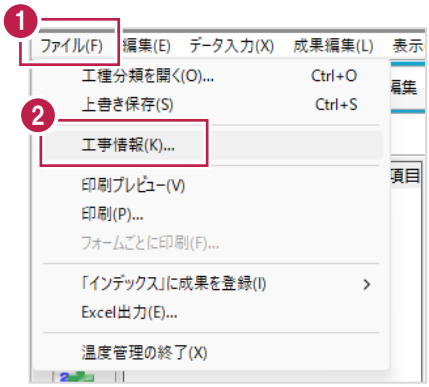
各温度の名称は入力セルのタイトルに、上・下限値は帳票内のグラフ上に、桁数は温度の入力セルに連動します。

工事情報の入力について

各部に連動する工事情報の入力は［ファイル］－［工事情報］で行います。
どの時点でも入力できます。

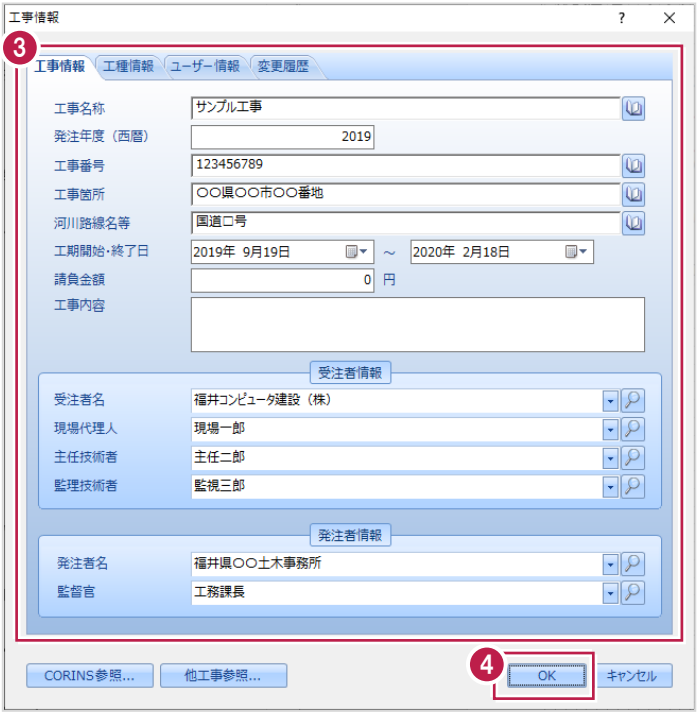
❶ メニューバーの［ファイル］をクリックします。

❷［工事情報］をクリックします。



❸ 工事情報を設定します。

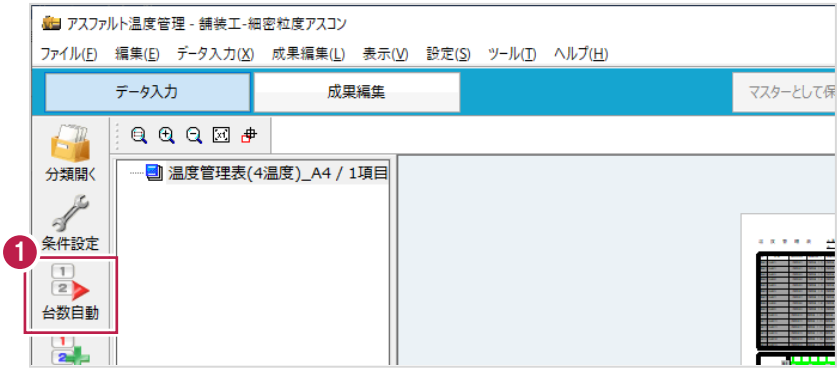
❹ 設定後、［OK］をクリックします。



3-4 台数の作成

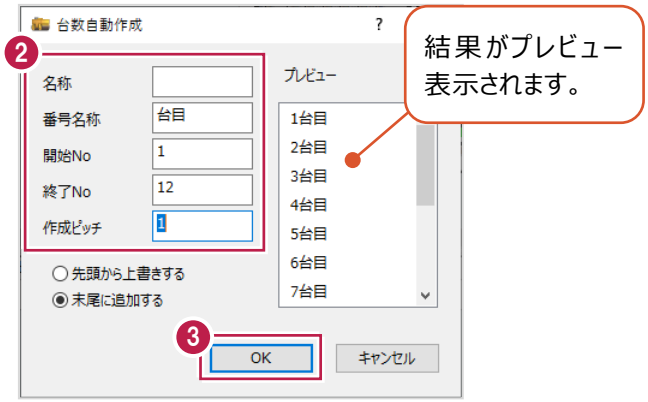
測定項目にダンプの台数を作成します。
操作例では［台数自動］から一括作成を行います。個々に台数を作成する場合は［台数追加］から行います。

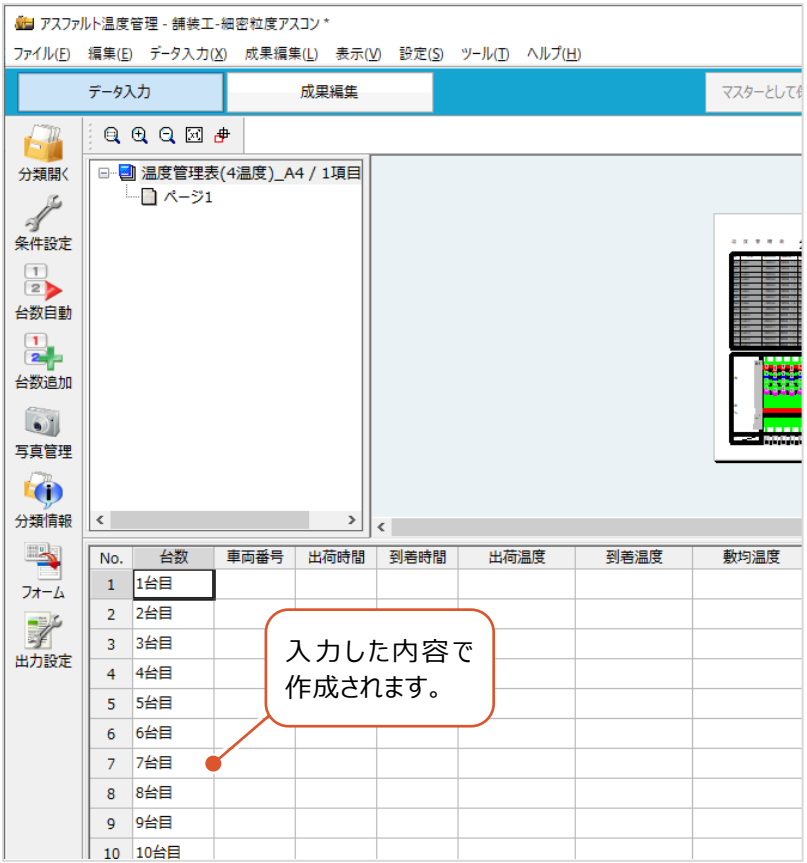
❶［台数自動］をクリックします。



❷［開始 No］［終了 No］を設定します。
ここでは、それぞれ「1」「12」（12 台）と設定します。

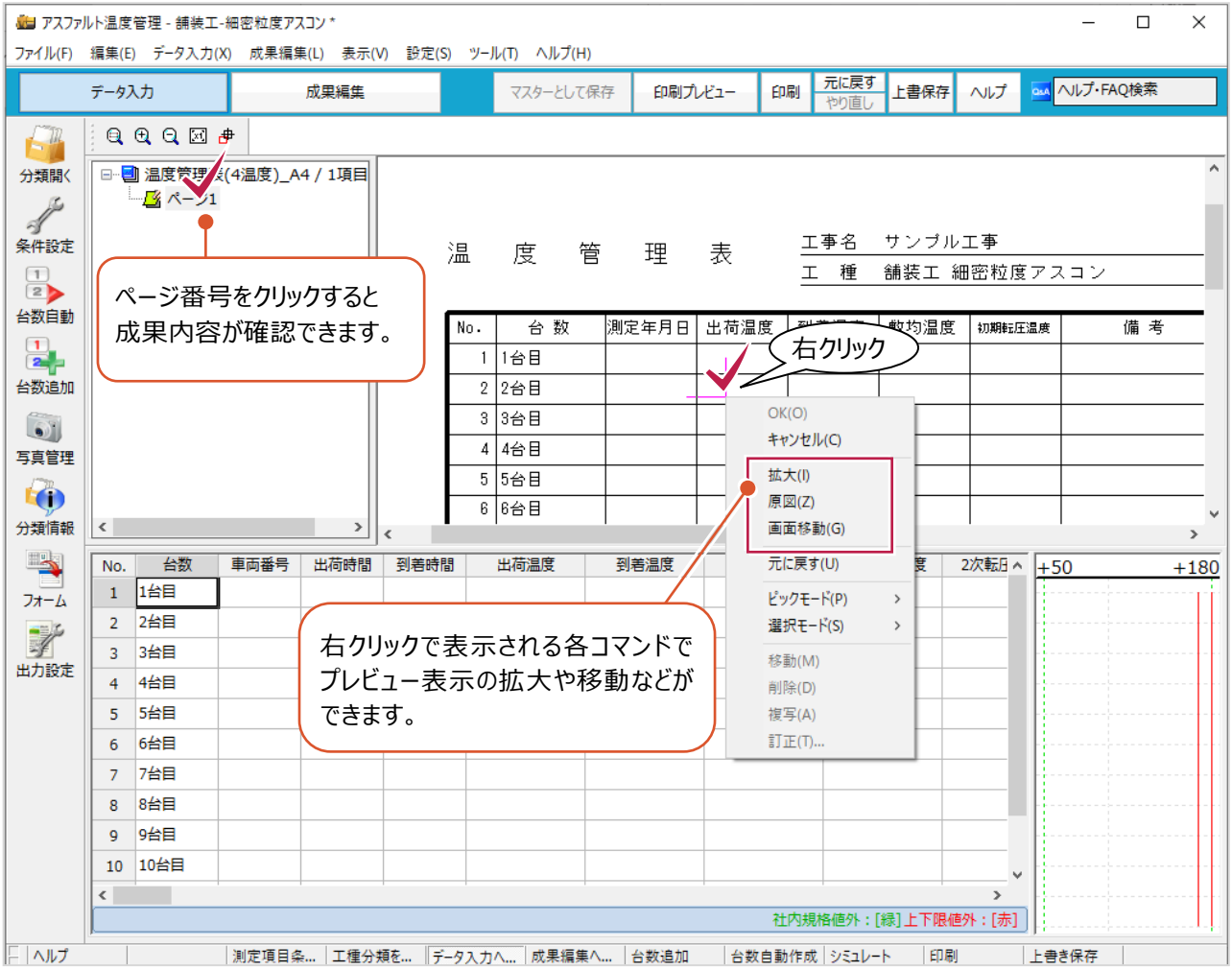
❸［OK］をクリックします。





成果イメージの確認

画面左のツリーでページ番号を選択すると、成果内容を確認できます。



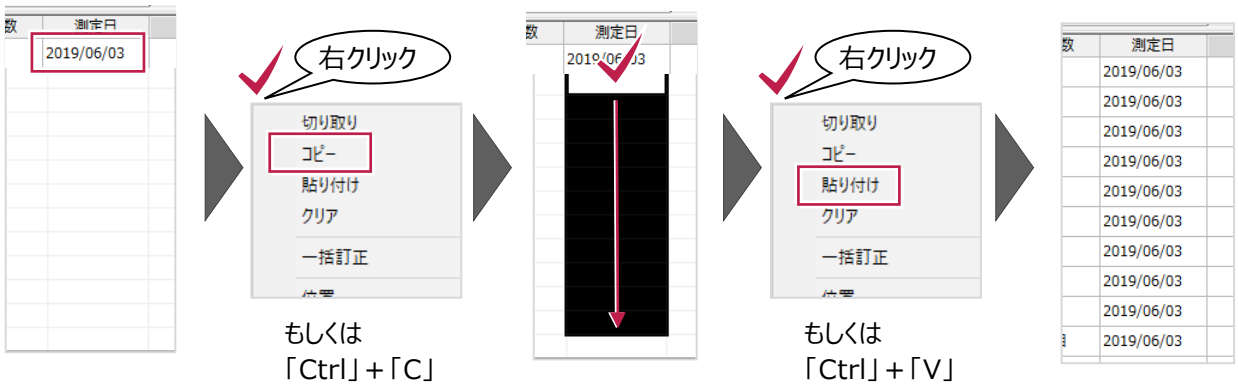
3-5 測定項目の入力

設定した台数に対して測点名、測定日、各温度を入力します。

入力温度が折れ線グラフで表示されます。
選択している測定温度セルの上限値、下限値が赤線で表示されます。
また、このグラフ領域内で右クリックして［グラフ設定］をクリックすると、
［グラフ設定］ダイアログが表示されます。
［グラフを使って入力］をオンにすると、グラフを直接指定して「測定温度」を変更できます。

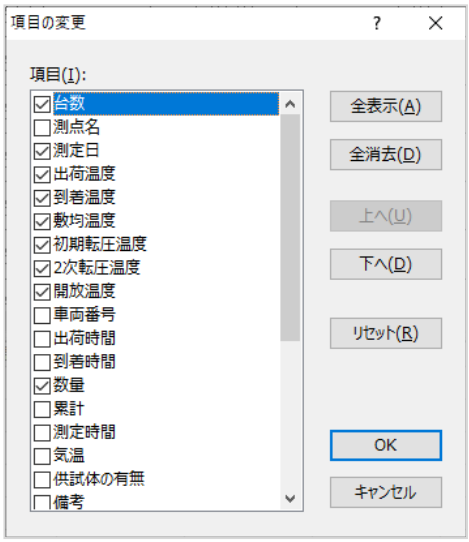
セル上の操作について

測定日など、同じ値を複数入力する場合は、複写すると効率的に入力できます。
入力済みのセルを選択後、右クリックで表示されるコマンド（もしくはキーボード操作）から複写を行います。



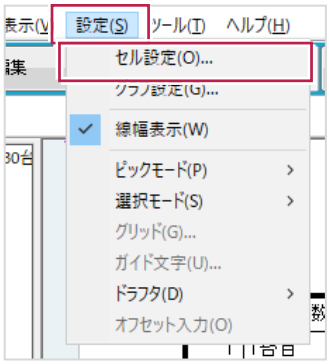
入力セルの表示項目について

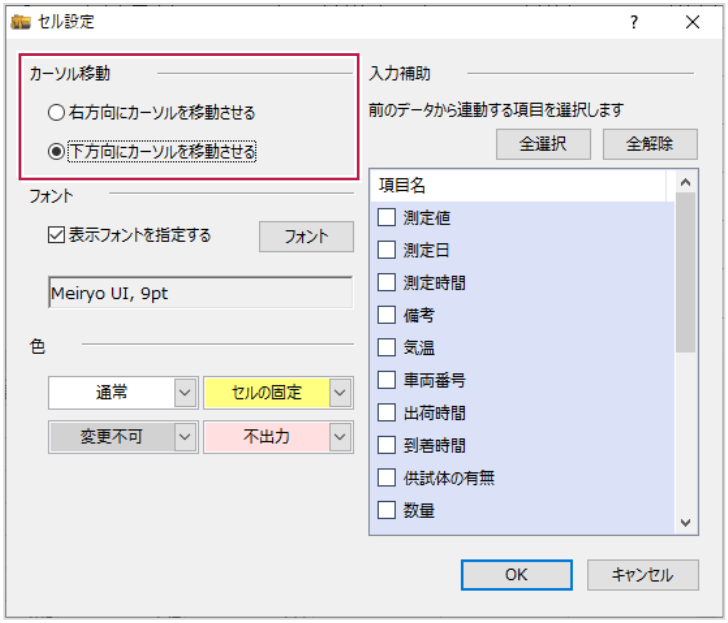
表示項目は変更・並べ替えができます。
入力不要な項目がある場合や、並び順がみづらい場合などに変更してください。
セル上で右クリックして、［項目変更］ – ［セル項目変更］をクリックし、入力しやすい表示に設定してください。
［項目の変更］ダイアログ内のチェックがオンになっている項目が表示されます。
また、ダイアログの項目の並び順で、入力セルの左側から順に表示されます。



入力時の Enter キーによるカーソル移動について

［設定］ – ［セル設定］で、Enterキーを押したときにカーソルを右方向に移動するのか、下方向に移動するのかを設定できます。



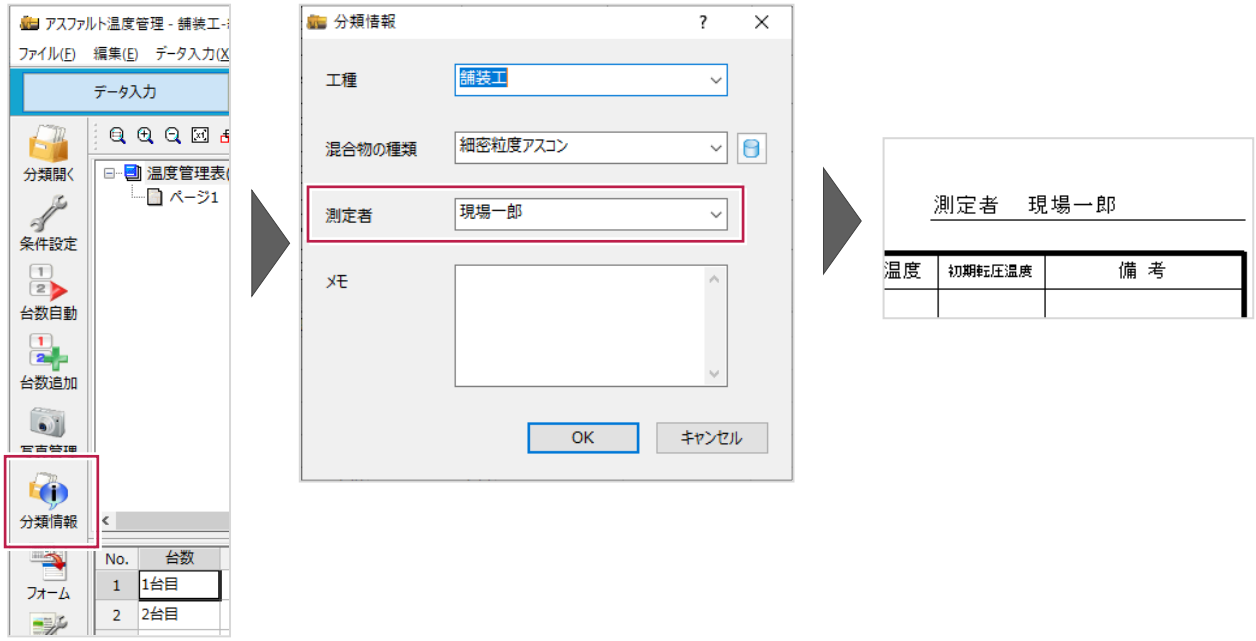


写真を確認しながら入力するには

画面左の［写真管理］をクリックすると、写真管理にある写真を確認しながら入力できます。

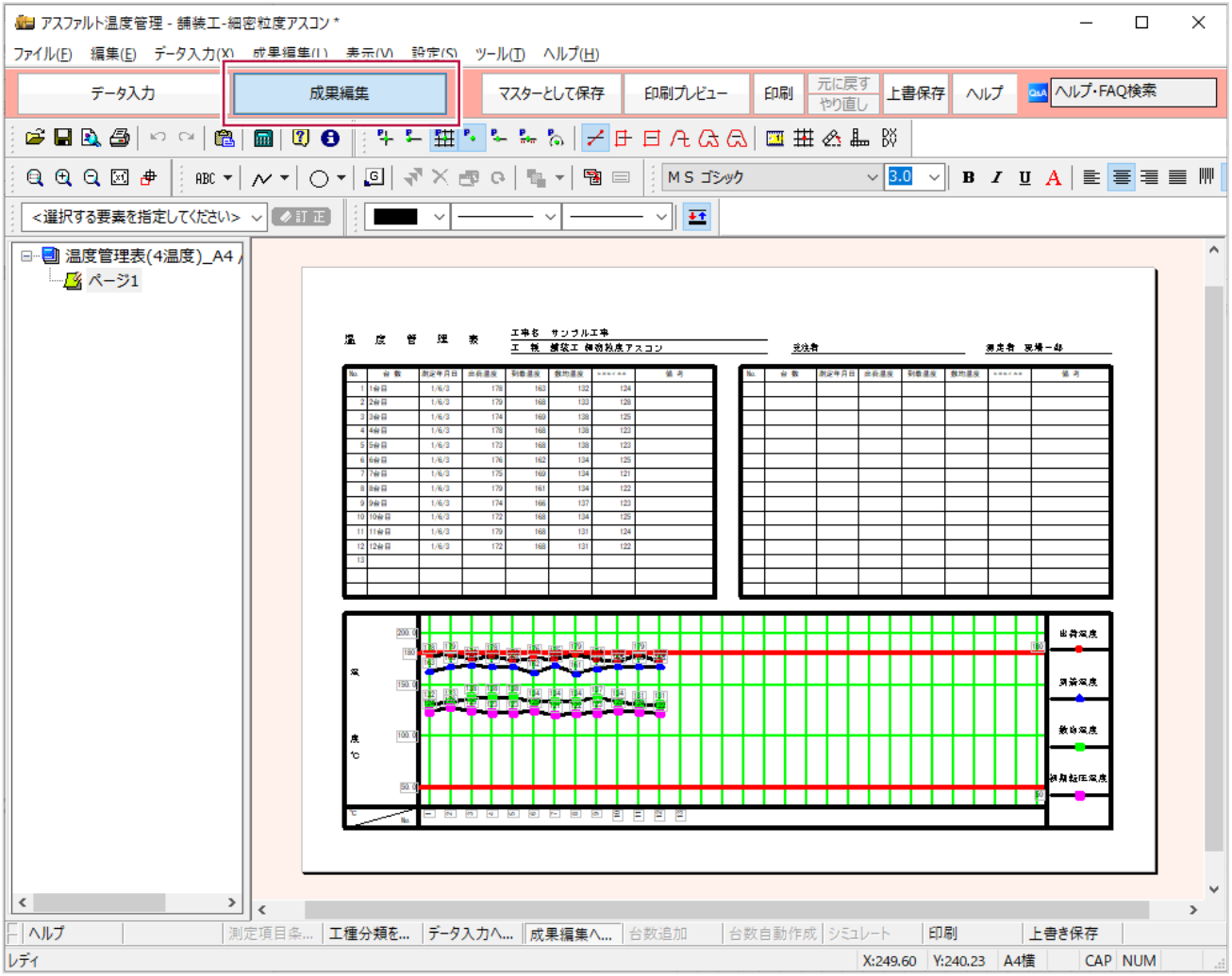
［測定者］の入力について

測定者は、画面左の［分類情報］で入力します。

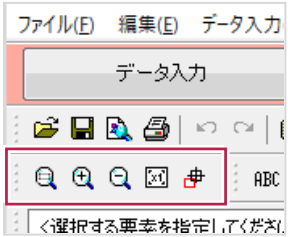


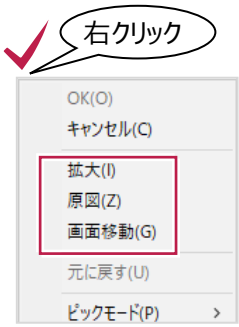
3 成果の確認・編集

グラフ内の色変更や任意の文字・線などの入力は［成果編集］ステージで行います。
画面左上の［成果編集］をクリックして［成果編集］ステージに切り替えます。

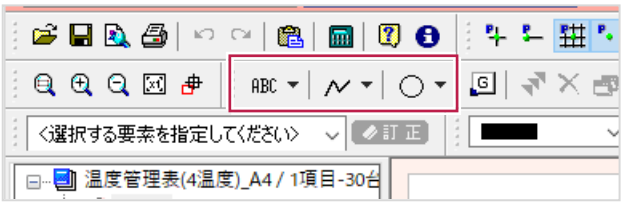


フォームの表示の拡大・縮小は、ツールバーのコマンドや、フォーム表示領域内で右クリックして表示される各コマンドで行えます。

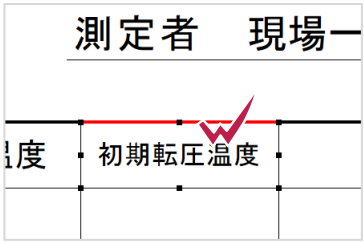


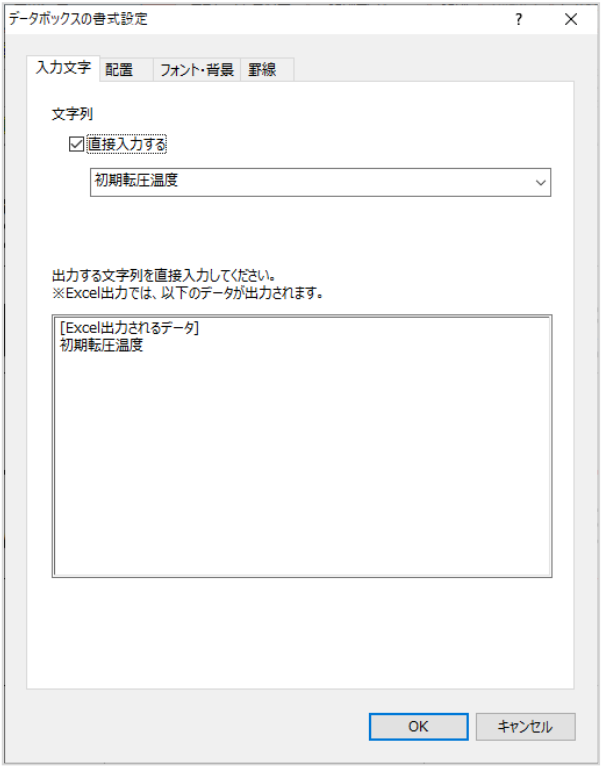


ツールバーのコマンドで、任意の位置に文字や線を入力できます。
下記アイコンの左から順に「文字」、「線」、「円」を入力できます。



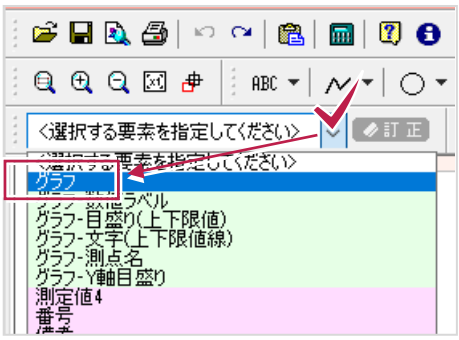
訂正する文字をダブルクリックすると訂正画面が表示されます。
［直接入力する］をオンにすると直接訂正できます。

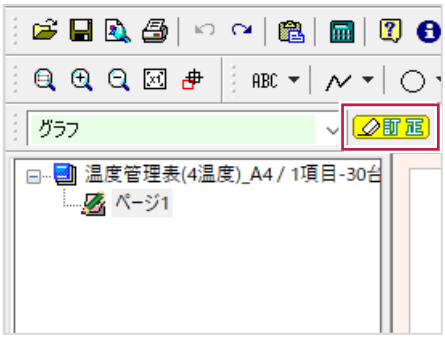




グラフの編集について

各グラフ線の色、目盛り線の表示・非表示は［グラフの書式設定］で設定できます。
［グラフの書式設定］はツールバーの［選択する要素を指定してください］で「グラフ」を選択して、［訂正］をクリックすると表示できます。



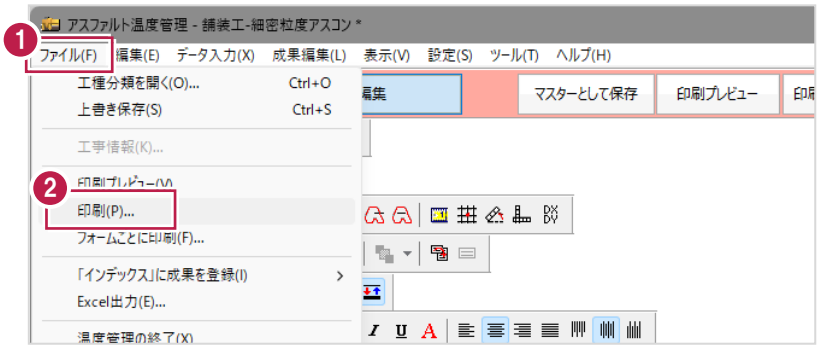


4 成果の印刷

作成した成果を印刷します。
印刷の実行は［データ入力］と［成果編集］のどちらのステージでも可能です。

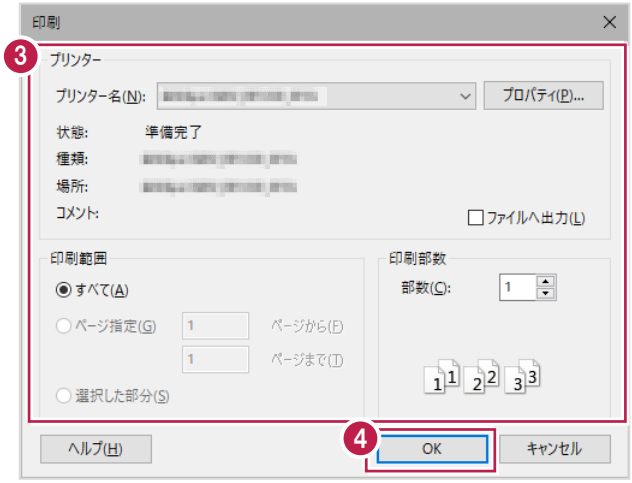
❶ メニューバーの［ファイル］をクリックします。

❷［印刷］をクリックします。



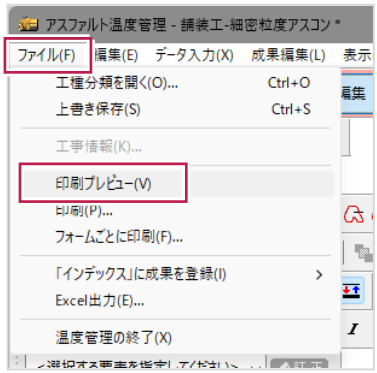
❸ 使用するプリンターや印刷範囲、部数などを設定します。

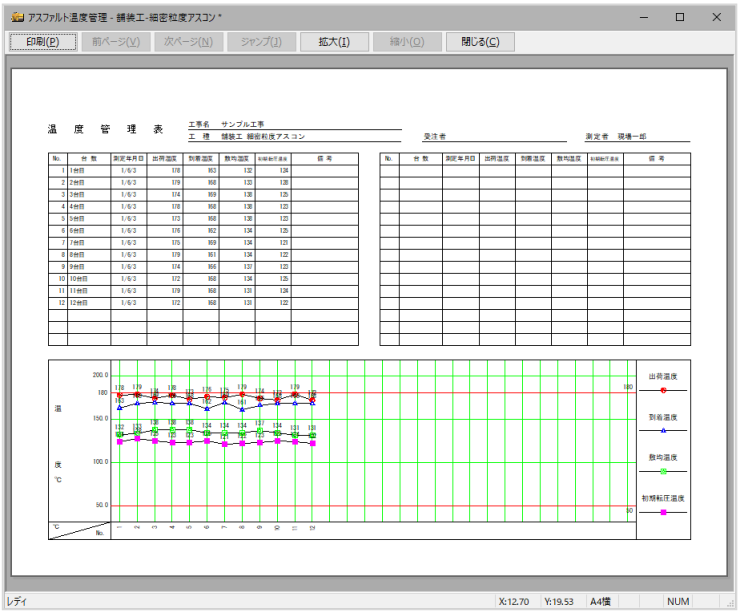
❹［OK］をクリックします



印刷プレビューについて

印刷前に［印刷プレビュー］で印刷イメージを確認すると、より正確に印刷できます。



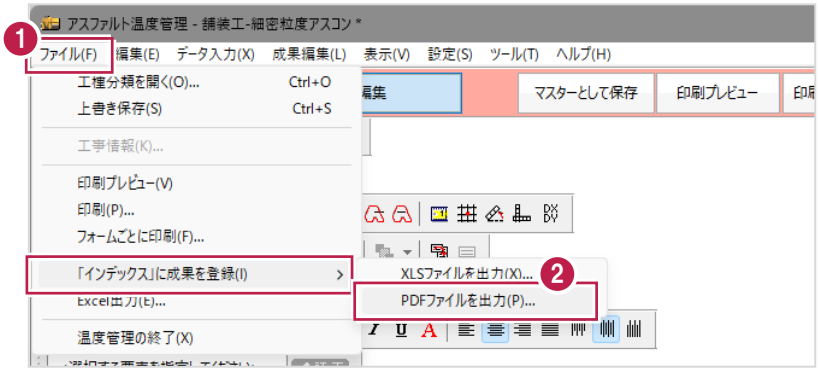


5 インデックスへの成果登録

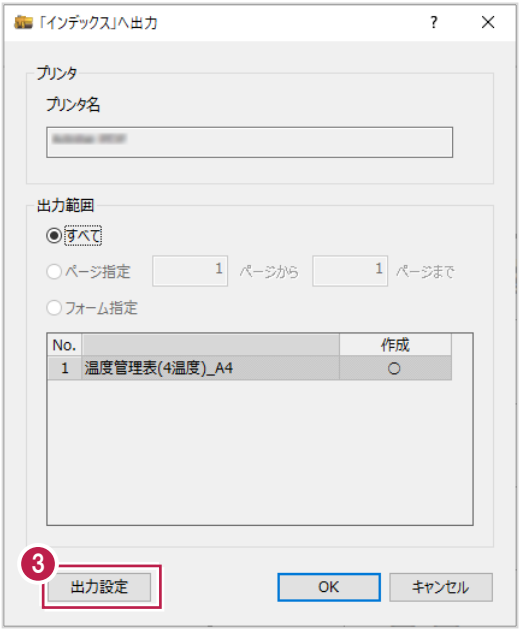
作成した成果をPDFファイルでインデックスに登録します。

❶ メニューバーの［ファイル］をクリックします。

❷ ［「インデックス」に成果を登録］ –
［PDF ファイルを出力］をクリックします。

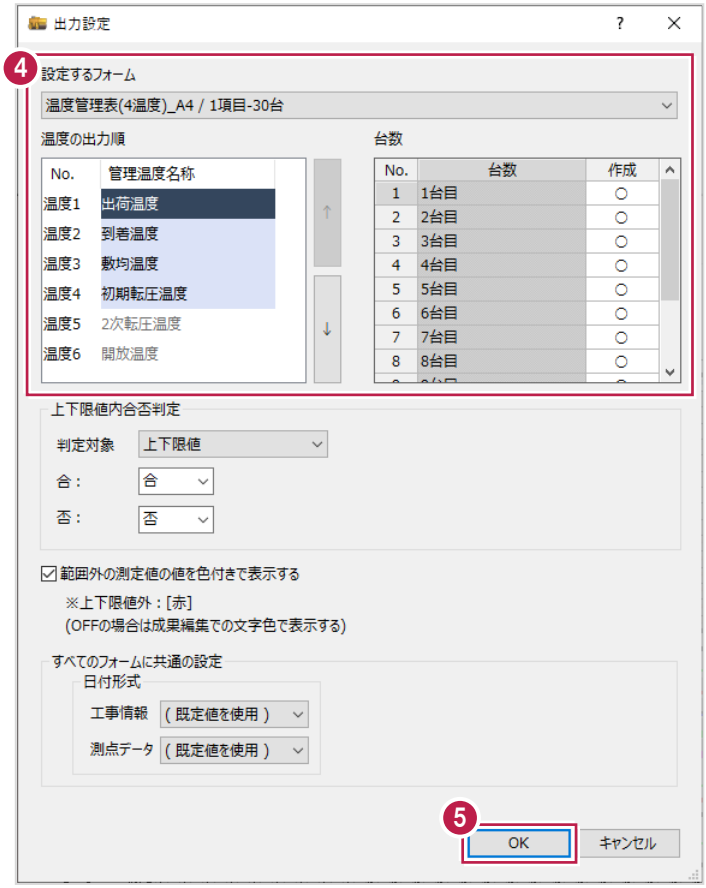


❸ ［出力設定］をクリックします。

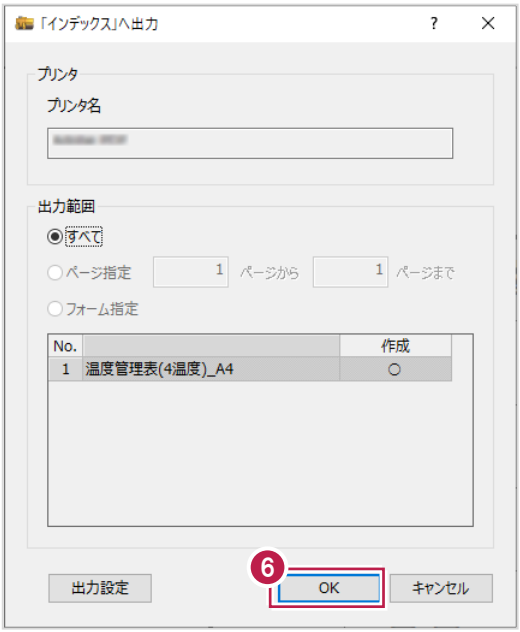


❹ 出力するフォーム、温度の出力順などを設定します。

❺［OK］をクリックします。



❻［OK］をクリックします。



成果の登録について

インデックスの［工事成果］－［成果フォルダ］の［品質管理資料］－［アスファルト温度管理］に登録されます。

6 工事データの保存

こまめに保存することで、不慮の事故によってシステムダウンした場合に影響が少なくて済みます。
各プログラムでデータを入力・変更したときは、各プログラムを終了するたびに保存することをお勧めします。

6-1 工事データの保存

工事データを保存します。

❶ メニューバーの［ファイル］をクリックします。

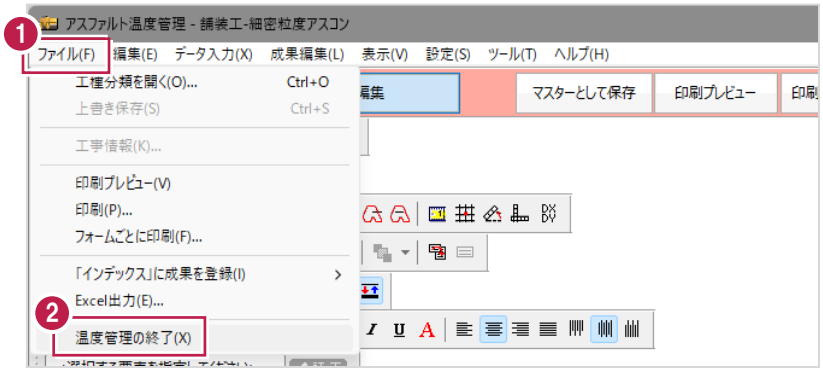
❷［上書き保存］をクリックします。

6-2 アスファルト温度管理の終了

アスファルト温度管理を終了します。

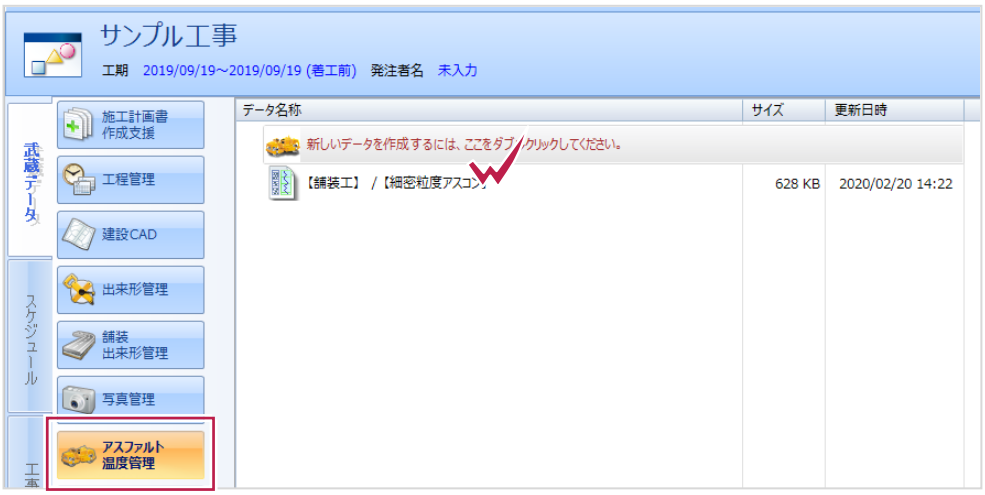
❶ メニューバーの［ファイル］をクリックします。

❷［温度管理の終了］をクリックします。



データを開く方法について

保存したデータは、［インデックス］起動後、保存したデータ名称をダブルクリックして開きます。



参考　入力専用ライセンス

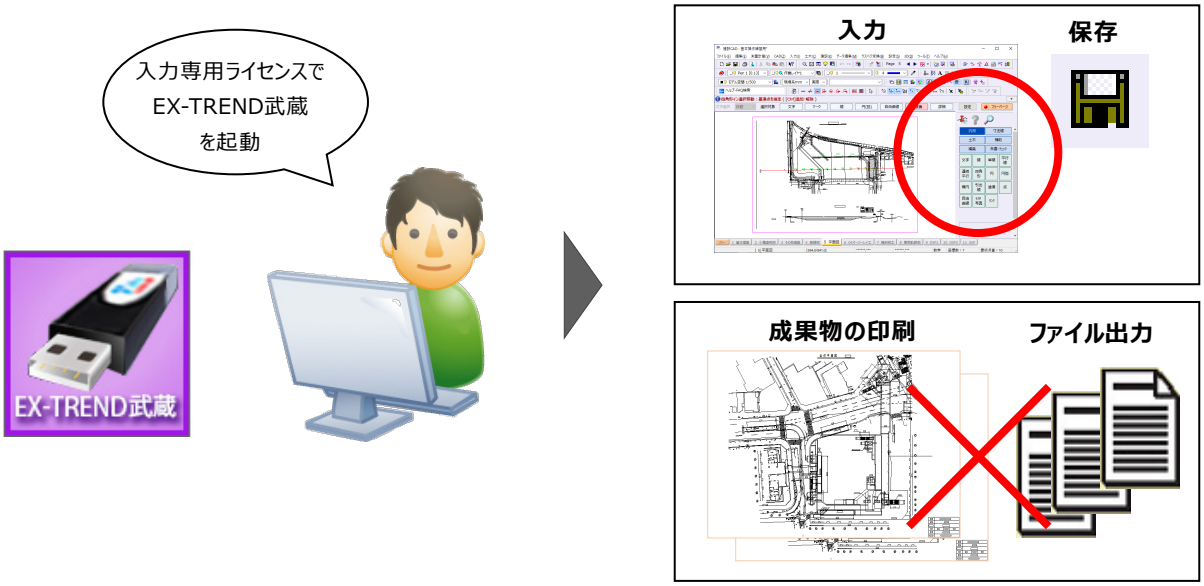
EX-TREND武蔵を起動するには、プロテクトキー（ネット認証ライセンスやUSBプロテクト）が必要になります。

ネット認証ライセンス　　USBプロテクト

ほかの方がプロテクトキーを使用中で空きがないときでも「入力専用ライセンス」を利用することで、EX-TREND武蔵を起動して作業することができます。

ただし、「入力専用ライセンス」で起動しているときには、データの入力や保存は可能ですが、成果物の印刷やファイルの出力ができませんのでご注意ください。

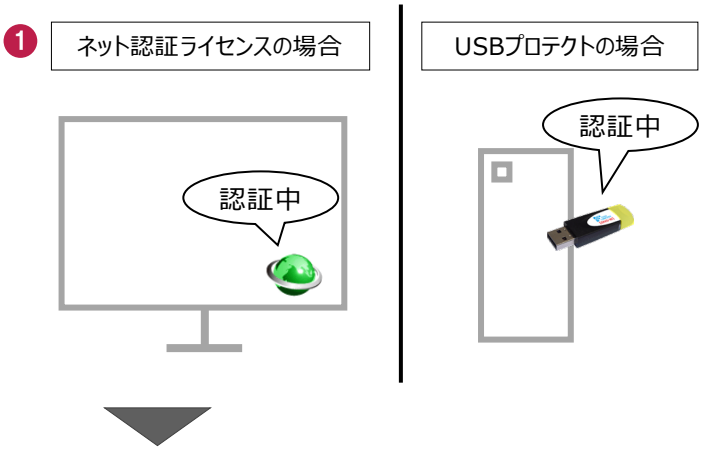


ここでは、「入力専用ライセンス」の使用方法と、起動・終了方法について説明します。

1-1　入力専用ライセンスの使用方法

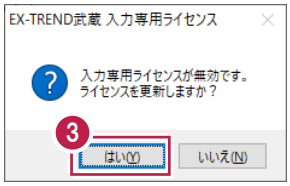
入力専用ライセンスを使用するために、親となるネット認証ライセンスやUSBプロテクトからライセンス情報を取得します。
ライセンス情報の取得をおこなうには、ネット認証ライセンスを認証する必要があります。（USBプロテクトの場合はパソコンに装着する必要があります。）

❶ ネット認証ライセンスの認証、
または USB プロテクトの装着をおこないます。



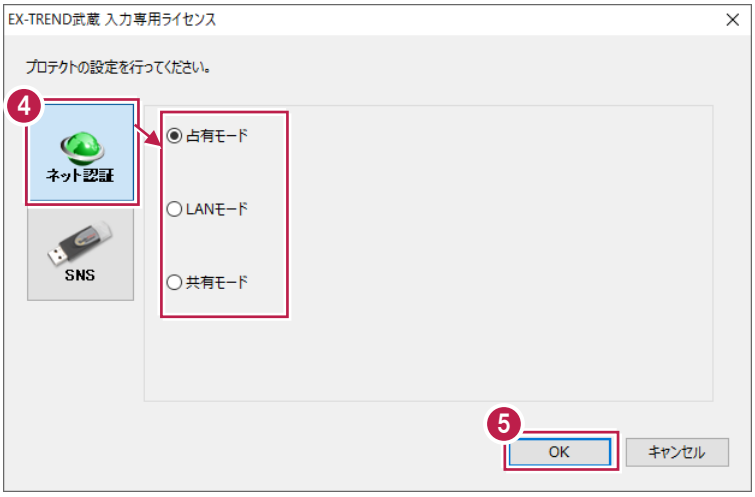
❷［入力専用ライセンス］をダブルクリックします。

❸［はい］をクリックします。

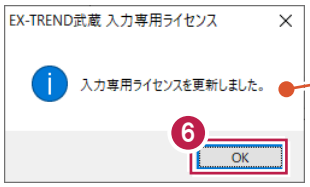


❹ 取得するライセンスの種類を選択します。
（右の例は、ネット認証ライセンスの占有モードを利用している場合です。）

❺［OK］をクリックします。

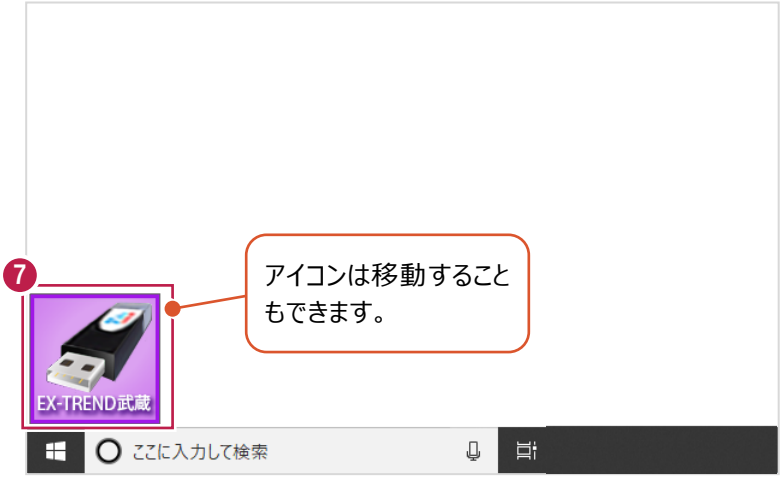


❻［OK］をクリックします。



ライセンス情報の取得が完了したら、
ネット認証ライセンスの解除やUSBプロテクトの取り外しをおこなっても構いません。

❼ デスクトップ左下に、入力専用ライセンス起動中のアイコンが表示されたことを確認します。



アイコンは移動することもできます。

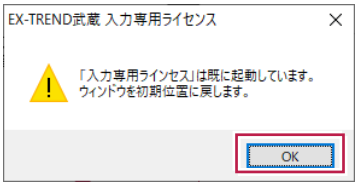
1-2　入力専用ライセンスでEX-TREND武蔵を起動する

入力専用ライセンスを起動し、［EX-TREND武蔵　インデックス］を起動します。
※はじめて入力専用ライセンスを使用する場合は、「1-1　入力専用ライセンスの使用方法」を確認してください。

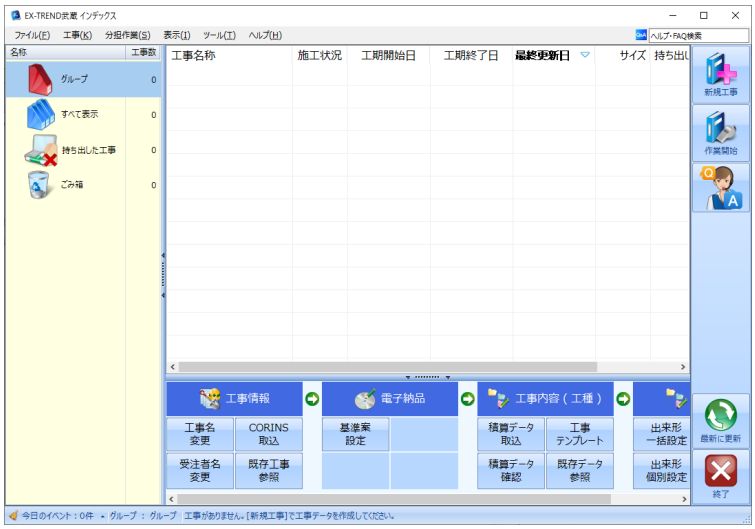
❶［入力専用ライセンス］をダブルクリックします。

❷ デスクトップ左下に、入力専用ライセンス起動中のアイコンが表示されたことを確認します。

すでに入力専用ライセンスが起動中の場合は、以下のメッセージが表示されますので［OK］をクリックしてください。



❸［EX-TREND 武蔵　インデックス］をダブルクリックします。

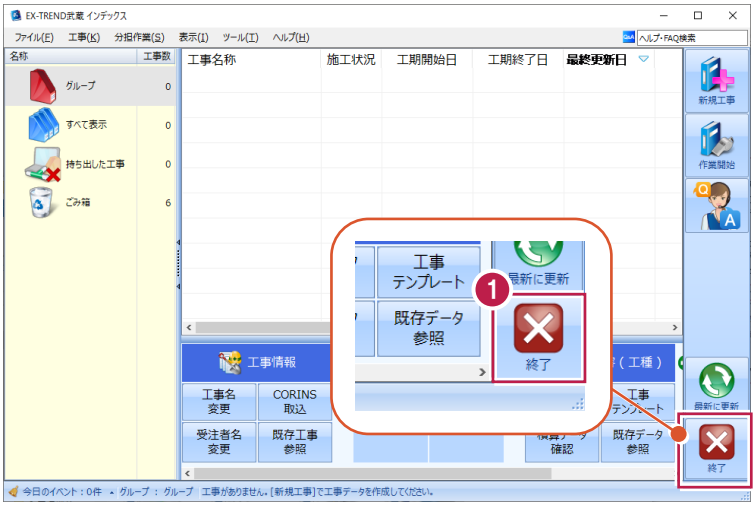


1-3 入力専用ライセンスの終了

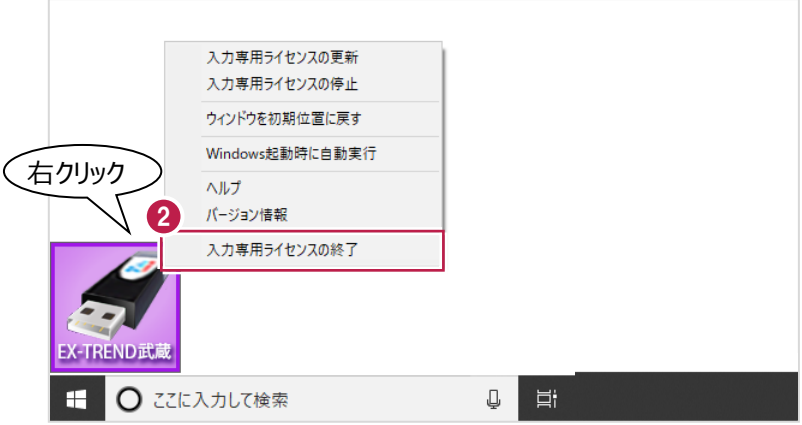
入力専用ライセンスは、ネット認証ライセンスおよびUSBプロテクトとの同時利用ができません。
例えば、「ネット認証ライセンス」を認証している状態でも「入力専用ライセンス」を起動している場合は、「入力専用ライセンス」が優先され、印刷や出力などができなくなります。

ここでは、入力専用ライセンスの終了方法を説明します。

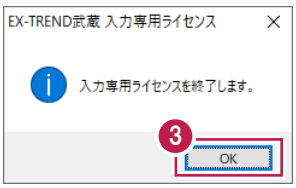
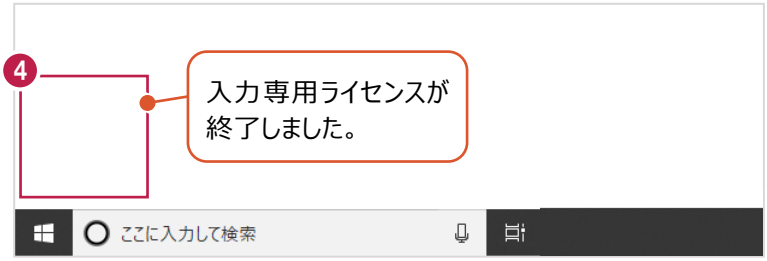
❶ EX-TREND 武蔵を起動している場合は、［終了］をクリックします。



❷ 入力専用ライセンス起動中のアイコンを右クリックし、［入力専用ライセンスの終了］をクリックします。



❸ ［OK］をクリックします。



❹ 入力専用ライセンス起動中のアイコンがなくなったことを確認します。